

平成29年度

事業報告書

事業報告の附属明細書

自：平成29年4月1日

至：平成30年3月31日



社会福祉法人

伊勢崎市社会福祉協議会

<目次>

□総務企画課	1
1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営	
2. 苦情解決体制の整備	
3. 自主財源の確保	
4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施	
5. 総合企画関連事業の実施	
6. その他の事業・業務	
□地域福祉推進課	5
1. 地域福祉推進事業	
2. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進	
3. 相談事業の開催	
4. 権利擁護体制の充実	
5. 生活困窮者への支援	
6. 社会参加・生活支援充実	
7. 関係団体等への支援	
8. 各支所との連絡調整	
9. 共同募金会への協力	
10. 戦没者等追悼式の執行	
11. ボランティア・市民活動センター	
12. 障害者相談支援センター	
13. その他の地域福祉推進	
□赤堀支所	22
1. 赤堀地区社会福祉協議会	
2. 地域福祉活動の推進事業	
□あずま支所	25
1. あずま地区社会福祉協議会	
2. 地域福祉活動の推進事業	

□境支所	28
1. 境地区社会福祉協議会		
2. 地域福祉活動の推進事業		
□在宅福祉課	32
1. 介護保険事業の経営		
2. 障害者福祉サービス事業の実施		
3. その他		
□施設管理課	44
1. 指定管理施設の管理運営		
2. いせさき絆コンサートの開催		
3. 社会福祉会館の管理運営		

□総務企画課

1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営

○理事会

- ・第1回 平成29年6月5日（月） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第1号 施設の長他の重要な職員の選任について
 - (2) 議案第2号 平成28年度事業報告書及び事業報告の付属明細書の承認について
 - (3) 議案第3号 平成28年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - (4) 監査報告
 - (5) 議案第4号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会役員等の報酬に関する規程の制定について
 - (6) 議案第5号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員の報酬に関する規程の制定について
 - (7) 議案第6号 理事の候補者について
 - (8) 議案第7号 監事の候補者について
 - (9) 議案第8号 平成29年度第1回評議員会について

- ・第2回 平成29年6月23日（金） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 会長の選定について
 - (2) 副会長の選定について

- ・第3回 平成29年7月26日（水） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第9号 伊勢崎市社会福祉協議会表彰及び感謝状贈呈基準について
 - (2) 議案第10号 表彰状及び感謝状の変更について
 - (3) 議案第11号 表彰等対象者の審査及び決定について

- ・第4回 平成29年9月27日（水） 場所：社会福社会館4階第1会議室
 - (1) 議案第12号 平成29年度資金収支予算の補正について

- ・第5回 平成29年12月22日（金） 場所：社会福社会館4階第2会議室
 - (1) 議案第13号 平成29年度資金収支予算の補正について
 - (2) 議案第14号 伊勢崎市社会福祉協議会伊勢崎事業所における介護予防訪問入浴介護事業の廃止について
 - (3) 議案第15号 評議員候補者の推薦について

- ・第6回 平成30年3月12日（月） 場所：社会福祉会館4階第2会議室
- (1) 報告 評議員の選任について
- (2) 議案第16号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款の一部変更について
- (3) 議案第17号 平成29年度資金収支予算の補正について
- (4) 議案第18号 平成30年度事業計画（案）について
- (5) 議案第19号 平成30年度資金収支予算（案）について
- (6) 議案第20号 平成29年度第2回評議員会について

○評議員会

- ・第1回 平成29年6月23日（金） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - (1) 議案第1号 平成28年度事業報告書及び事業報告の附属明細書の承認について
 - (2) 議案第2号 平成28年度計算書類及び財産目録の承認について
 - (3) 議案第3号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会役員等の報酬に関する規程の制定について
 - (4) 議案第4号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員の報酬に関する規程の制定について
 - (5) 議案第5号 理事の選任について
 - (6) 議案第6号 監事の選任について
-
- ・第2回 平成30年3月27日（火） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - (1) 議案第7号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款の一部変更について
 - (2) 議案第8号 平成30年度事業計画（案）の承認について
 - (3) 議案第9号 平成30年度資金収支予算（案）の承認について

2. 苦情解決体制の整備

福祉サービスに係る利用者からの苦情を解決する体制を整備し、利用者の権利を擁護すること、また、利用者が本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援することを目的としています。

情報公開第三者委員会については、情報公開規程における開示申出者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために設けられています。

苦情解決に関する第三者委員及び情報公開第三者委員は各3人です。

- (1) 苦情解決に関する第三者委員・情報公開に関する第三者委員 第1回合同会議
- 日時：平成29年12月22日（金）
- 場所：社会福祉会館 4階第2会議室

○苦情解決に関する第三者委員会

- ・平成28年11月～平成29年11月現在までの苦情等解決状況報告
- ・意見交換ほか

○情報公開に関する第三者委員会

- ・状況報告
- ・その他

3. 自主財源の確保

本会の運営は、会員である住民、団体等の会費でまかなわれており、様々な福祉活動を展開するための財源の確保として、会員より一般会費、賛助会費、特別会費を納めていただいています。

(1) 一般会費

本会の目的に賛同し、市内に住所を有する世帯より会費を納めていただきました。

<年額1世帯あたり400円>

	世帯数(世帯)	納入額(円)
合計	72,892	29,156,960

(2) 賛助会費

本会の目的に賛同する福祉団体等の賛助会員より会費を納めていただきました。

<年額1口1,000円>

納入件数	納入口数	納入額(円)
101	260	260,000

(3) 特別会費

本会の目的に賛同する会社、団体等の特別会員より会費を納めていただきました。

<年額1口5,000円>

納入件数	納入口数	納入額(円)
40	57	285,000

4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施

(1) 広報紙「社協いせさき かがやき」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報紙を発行しました。A4カラー8ページの広報紙を、7月・11月・3月の年3回にわたって、市内全戸及び社協会員並びに関係機関に配布しました。

(2) ホームページの管理運営

事業計画及び報告並びに計算書類等の公開の他、各種事業等の募集及び職員求人等について市民等に広く情報発信する為に、本会ホームページの適切な管理運営を実施しました。

5. 総合企画関連事業の実施

(1) 伊勢崎市社会福祉大会の実施

地域福祉のより一層の推進を目指すとともに、永年にわたり社会福祉事業の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。

日 時：平成29年10月12日（木） 午後1時30分～午後4時

場 所：伊勢崎市境総合文化センター 大ホール

【第一部 講演会】

<講演>

「～あなたは認知症予防していますか～認知症になった波平」

講師 渡辺 哲雄 氏（日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員）

【第二部 式典】

- ・受賞者 表彰の部 95人 ・感謝の部 26人、7団体
- ・参加者計 549人

*障害福祉サービス事業所等の物品販売を実施（計6施設参加）

*赤い羽根共同募金の募金箱を設置：募金額2,313円

6. その他の事業・業務

(1) 実習生の受け入れ

国家資格「社会福祉士」の受験資格取得のための学生を受け入れ、社会福祉協議会事業の実習を行いました。

学校名・受入人数	受入期間	日数・時間
東京福祉大学 社会福祉学部3年 2人	(前期実習) 平成29年6月5日～ 6月16日 (後期実習) 平成29年10月10日～ 平成30年2月1日	10日間・80時間 30日間・240時間
高崎健康福祉大学 健康福祉学部3年 1人	平成29年8月7日～ 9月15日	24日間・186時間

□地域福祉推進課

1. 地域福祉推進事業

(1) 地区社協活動の活性化及び支援

各地区社協へは、地区社協強化費等の助成金や戸外サービス事業への助成を行い、活動を支援しました。また、各地区社会福祉協議会の総会に地区担当職員等が同席し、社会福祉協議会事業の紹介等を行いました。

(2) 福祉関係諸団体との連絡調整

民生委員・児童委員連絡協議会、区長会等の諸団体と協力し各種事業に取り組みました。

2. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

(1) 我が事・丸ごとの地域づくりの推進

地域包括ケアシステムや協議体活動等の説明・研修をとおり、我が事・丸ごとの地域づくりについて、老人クラブやボランティア協会等の関係団体に理解を促しました。

また、地域福祉担当に限らず、介護・障害者サービス等の職員も協議体での地域づくりに携わることで、丸ごとの支援に対応するための本会事業全般の連携強化に努めました。

(2) 地域包括ケアシステムにおける、地域の支え合いの体制づくり及び支え合い活動の推進

伊勢崎市（担当：地域包括支援センター）及び社会福祉協議会で構成する「いせさき地域支え合い創出プロジェクト」のもと、協議体が発足されていない4圏域を対象に設置に向けた勉強会を開催し、市内全11圏域（地区）に協議体を設置することができました。協議体では、各地区の地域住民、高齢者相談センター等の関係者が参加し、支え合いの体制づくりに向けた地域課題等の情報共有等を行いました。協議体によっては、住民アンケートの実施や協議体活動の周知を行うために回覧等を作成し、課題分析や地域住民への理解を促すなど、地域の状況に応じた様々な活動が少しずつ始まりました。また、協議体参加者を対象とした意見交換会・情報交換会を開催し、各協議体の活動状況等を意見交換、情報共有することで、今後の活動に活かすための参考となりました。

①地域支え合いの体制づくり勉強会

第2層協議体の設置へ向け、北・三郷・宮郷・名和圏域の地域住民を対象に、協議体及び生活支援体制整備事業の制度理解のための勉強会を開催し協議体を発足しました。

期日：平成29年6月8日（木）・19日（月）・20日（火）、7月5日（水）・20日（木）

場所：伊勢崎市緋の郷（多目的ホールほか）、三郷公民館、名和公民館

北・三郷・宮郷・名和圏域協議体の発足：平成29年7月20日（木）

②第2層協議体

圏域	協議体名	会 場	年間開催回数
北・三郷	北のきずな	北公民館	7回
	みさとほほえみクラブ	三郷公民館	4回
南・茂呂	南十字星	南公民館	11回
	茂呂圏域協議体	ひろせ町／南千木町会議所	7回
殖蓮	殖蓮地域支え合い協議体	殖蓮公民館	12回
宮郷	宮郷圏域協議体	宮郷公民館	8回
名和	名和ささえあいネット	名和公民館	8回
豊受	豊受圏域協議体	豊受公民館	6回
赤堀	あかぼり地域支え合い協議体	赤堀公民館	11回
東	あずま地区協議体	高齢者生きがいセンター	11回
境	境圏域協議体	境地域福祉センター	6回

(計 91回)

③地域支え合いの体制づくり意見交換会

市内11地区の第2層協議体参加者が一堂に会し、地域における支え合いの体制づくりや協議体の役割等についての理解を深め、それぞれの協議体の現況を報告し、今後の活動に活かすための意見交換会を開催しました。

期日：平成29年6月19日（月）

場所：伊勢崎市緋の郷 第1・2交流室

圏域：13：00～14：30 殖蓮・豊受・境圏域、15：30～17：00 南・茂呂・赤堀・東圏域

④地域支え合いの体制づくり情報交換会

市内11地区の第2層協議体参加者が一堂に会し、地域における支え合いの体制づくりや協議体の役割等についての理解を深め、それぞれの協議体の現況報告を共有することで、今後の活動に活かすための情報交換会を開催しました。

日時：平成30年2月8日（木）13：30～16：40

場所：伊勢崎市境総合文化センター 小ホールほか

内容：基調講演「生活支援体制整備事業の目的とS.C.協議体の果たす役割」

講師 公益財団法人さわやか福祉財団 戦略アドバイザー 土屋幸己 氏

パネルディスカッション「協議体で取り組んでいること」

パネリスト 豊受圏域協議体 多賀谷玉蔵 氏

あかぼり地域支え合い協議体 境野良一氏

グループワーク（各協議体における活動状況等の情報共有）

(3) 伊勢崎市及び各日常生活圏域での関係機関との協働・連携強化

地域包括支援センター、各圏域の高齢者相談センター、障害者基幹相談支援センター、社会福祉施設・医療機関等、様々な関係機関との連携強化に努めました。

3. 相談事業の開催

(1) 心配ごと相談事業（各支所に相談所を開設）

社会福社会館（第1、第3及び第5月曜日）及び赤堀（第2、第4火曜日）・あずま（第1、第3及び第5水曜日）・境（第2、第4金曜日）各支所、ふれあいセンター・境社会福祉センターで毎月1回相談所を開設し、市民の日常生活上の課題克服に関する相談に応じ適切な助言指導を行いました。

○相談件数

	伊勢崎	赤堀	あずま	境	ふれあいセンター	境社会福祉センター	合計
開催日数（日）	25	24	25	23	10	12	119
相談件数（件）	23	9	16	9	4	1	62

○相談状況

(件)

	解決	再来	民生委員	他機関	その他	計
生計	1	0	0	3	1	5
年金	0	0	0	0	0	0
職業・生業	0	0	1	0	1	2
住宅	1	0	0	4	0	5
家族	1	2	1	2	2	8
結婚	0	0	0	0	1	1
離婚	1	0	0	2	0	3
健康・保健・衛生	3	0	0	1	1	5
医療	0	0	0	1	2	3
人権・法律	0	0	0	0	0	0
財産	1	1	0	2	1	5
事故	0	0	0	1	0	1
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0	1	1
障害者（児）福祉	0	0	0	0	0	0
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	1	1
苦情	2	0	0	0	1	3
その他	2	0	0	7	10	19
合計	12	3	2	23	22	62

(2) 結婚相談事業

毎週金曜日及び毎月第1・3日曜日、結婚の機会提供のための相談所を開設し、結婚に関する相談に応じ適切な助言と紹介業務を行いました。また、「出会いの場」の提供として、年2回のお見合いパーティー開催のほか、結婚に向けての意識啓発や身だしなみ・会話力等の個人の魅力アップを図るセミナーを開催しました。

○相談件数・相談状況

開催日数	72日	相談件数	518件	お見合い(延べ)	71組
登録者数 (年度末)	男	女	計	交際中(延べ)	125組
	178人	82人	260人	所内結婚成立	4組

(3) その他必要な相談

日常業務での各種相談の対応に努めました。

4. 権利擁護体制の充実

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な利用者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス等を行うことにより、地域の中で安心した生活が送れるよう援助を行いました。

事業対象地域	伊勢崎市、(佐波郡) 玉村町
--------	----------------

○事業状況

相談件数	総件数			4,169件
相談形態	訪問相談	1件	来所相談	36件
	電話相談	4,132件	その他	0件
相談分野	認知症高齢者	780件	知的障害者	628件
	精神障害者	2,578件	寝たきりの高齢者	0件
	身体障害者	0件	その他	183件
申請件数	総件数			24件
契約締結審査会依頼数	審査依頼件数			0件
支援計画策定状況	策定件数			24件
内 訳	認知症高齢者	10件	知的障害者	3件
	精神障害者	11件	寝たきりの高齢者	0件
	身体障害者	0件		

利用契約の締結状況	契約締結件数			24 件
内 訳	認知症高齢者	10 件	知的障害者	3 件
	精神障害者	11 件	寝たきりの高齢者	0 件
	身体障害者	0 件		
生活保護受給者数	上記利用契約のうち生活保護受給者数			12 人
生活支援員の登録状況	生活支援員登録者数			27 人
生活支援員の雇用状況	生活支援員の雇用者数			24 人

○相談者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
計	780	628	2,578	183	4,169

○契約者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
新規契約者数	10	3	11	0	24
継続契約者数	27	23	47	0	97
計	37	26	58	0	121

○援助状況

	延べ利用者数	援助時間数
計	1,348 人	2,134 時間

(2) 地域包括支援センター及び障害者基幹相談支援センター等との連携強化

各圏域地域包括支援センター開催の地域ケア個別会議や、障害者基幹相談支援センター等が主催している会議等に積極的に参加し情報交換や連携強化に努めました。

(3) 成年後見制度等の相談援助

成年後見制度の概要説明や専門職団体等の紹介をしました。

(4) 市民後見人の育成活動支援

県及び県社協主催の勉強会や情報交換会に積極的に参加し情報収集に努めました。

(5) 啓発・研修事業の実施・協力

管内の生活支援員を対象とした研修会を開催し情報共有、意見交換等を行いました。

(6) 関係機関連絡会議等の開催

一般社協（玉村町社協）と連絡会議を開催し情報の共有に努めました。

5. 生活困窮者への支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

群馬県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業について、民生委員の協力を得ながらハローワーク及び行政等と連携し、相談・貸付の申請を受理するとともに、償還指導を実施し、借受世帯の生活の向上に向けて支援することができました。

○生活福祉資金貸付申請状況

(円)

資 金 種 類		件数	金額	
生 活 福 祉 資 金	総合支援資金	生活支援費	3	558,000
		住宅入居費	0	0
		一時生活再建費	1	42,000
		計	4	600,000
	福祉資金	福祉費	2	740,000
		緊急小口資金	17	1,427,000
		緊急小口資金（震災被災者等対象の特例貸付）	0	0
		計	19	2,167,000
	教育支援資金	教育支援費	5	3,008,000
		就学支度費	12	4,017,000
		計	17	7,025,000
	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0	0
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0
		計	0	0
合 計		40	9,792,000	
臨時特例つなぎ資金		0	0	
総 合 計		40	9,792,000	

(2) 生活一時資金貸付事業

市内に居住する低所得世帯で生活困難におちいった世帯に対し、一時的に必要な生活資金を貸付けするとともに、償還に対する援助指導を行い、世帯の安定を図り生活の向上に向けた支援を行うことができました。

○生活一時資金貸付・償還状況

(円)

	申 請 件 数	貸付決定件数	貸 付 金 額	償 還 件 数	償 還 金 額
計	2	2	50,000	11	118,000

年度末貸付原資残高 1,136,246 円

(3) 高額療養費つなぎ資金貸付事業

国民健康保険法に基づく高額療養費が適用され、入院等で高額となった医療費の支払いが困難な世帯に対し資金を貸付けることにより、医療機関への支払が可能となり、療養費を心配することなく治療を行うことができ、生活の安定を図ることができました。

○高額療養費貸付状況

(円)

	申 請 件 数	決 定 件 数	貸 付 金 額
計	59	59	11,141,580

(4) 生活困窮者自立支援事業の協力

生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議に出席し支援プラン作成に協力しました。

- ・支援調整会議開催回数 12回

6. 社会参加・生活支援充実

(1) 車いすの貸出事業

介護保険において自立と判定された者等に対し福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の向上を図り、利用者の外出や移乗の援助を行うことができました。

(件)

	伊勢崎	赤堀	あずま	境	計
車いす延べ利用件数	87	8	39	40	174

(2) 福祉車両の貸出事業

身体障害者等が外出する際の車いす用低床車を家族等に貸出すことで、外出を容易にし、通院や買い物など日常生活を行う場合の利便性を図り、社会参加及びレクリエーション活動等への参加に対する交通手段を確保することができました。

○貸出状況

	延べ利用者数	貸出日数	距離
地域福祉推進課	55件	71泊 125日	2,365km
あずま支所	39件	45泊 84日	3,367km
境支所	58件	33泊 91日	1,886km
合計	152件	149泊 300日	7,618km

○使用車両

	使用車両
地域福祉推進課	ホンダNBOX (平成26年7月から社協でリース)
あずま支所	トヨタシエンタウエルキャブ(平成28年登録社協保有車)
境支所	ホンダNBOX (平成27年3月から社協でリース)

(3) 意思疎通支援事業

伊勢崎市からの委託を受け、市内在住の聴覚障害者の需要に応じた事業(手話通訳者設置事業・手話通訳者派遣事業)を実施することにより意思疎通の保障を確保し、自立と社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

① 手話通訳者設置事業

- ・手話通訳者設置場所 伊勢崎市社会福祉協議会：地域福祉推進課
伊勢崎市障害者基幹相談支援センター
- ・手話通訳活動件数 1, 186件

○手話通訳活動別件数

	依頼件数	通 訳	電話通訳	連絡 打合せ	相 談	その他
合計	1, 186	204	60	650	79	193

○手話通訳内容別件数

	公的機関	医療機関	教育・ 保育	職業・ 資格	大会・会 議・講演会	団体活動	その他	合計
合計	13	200	52	68	2	114	737	1, 186

② 手話通訳者派遣事業

- ・市登録手話通訳者 21人（今年度活動可能通訳者18人）
 - ・派遣件数 623件
 - ・派遣人数 670人
- *大会、会議、講演会など2時間を超える内容等の派遣は、複数派遣しています。

平成29年度は、手話通訳者設置事業と手話通訳者派遣事業を実施しました。
要約筆記者派遣事業については、市で実施しました。

7. 関係団体等への支援

(1) 関係団体との連携強化

関係団体等との連携に努めました。

(2) 関係団体への育成援助及び助成

①伊勢崎市老人クラブ連合会

伊勢崎市老人クラブ連合会の事務局として、総会・役員会・各専門部会等の会議を開催するとともに、グラウンドゴルフ大会、スマイルボウリング大会、囲碁・将棋大会、ゲートボール大会、輪投げ大会、芸能大会、会員相互の友愛訪問等の事業を実施。また、各支所においても各地区老人クラブの事業等を支援しました。

- ・会 長 大貫 森次
- ・会員数 11, 006人
- ・総 会 平成29年5月11日（木）
- ・役員会・専門部会等開催 25回

②一般財団法人群馬県遺族の会伊勢崎支部

遺族の会伊勢崎支部の事務局として、総会・役員会等の会議を開催し、国・県・市戦没者追悼式に参列。靖国神社・県護国神社参拝等の事業を実施するとともに、県遺族の会主催の海外戦跡慰霊巡拝、沖縄「群馬の塔」慰霊参拝事業に参加しました。また、各支所においても各地区の遺族会への会議・事業等を支援しました。

- ・支部長 新井 利榮
- ・会員数 905人
- ・総会 平成29年5月16日（火）
- ・役員会等開催 6回

③伊勢崎市母子会

離婚や死別などで配偶者をなくした母子世帯（父子世帯）の自立支援と会員相互の親睦を深めるために設立された団体であり、ふれあい交流事業（若年・寡婦）の実施、県・市各種大会への参加等を支援しました。

- ・会長 須永 美津江
- ・会員数 100人
- ・総会 平成29年4月14日（金）
- ・役員会議等開催 11回

④伊勢崎保護区保護司会

罪を犯した人が社会復帰するための手助けをする、法務省から委嘱を受け結成された団体であり、第67回社会を明るくする運動事業の積極的推進、自主研修会の実施、県・市各種大会への参加等を支援しました。

- ・会長 熊谷 勝弘
- ・会員数 81人
- ・総会 平成29年5月16日（火）
- ・役員会議等開催 11回

⑤伊勢崎地区更生保護女性会

女性としての立場から更生保護活動に協力するボランティア団体であり、全国及び県更生保護女性連盟に関する各大会・研修会への出席・事業協力等を支援しました。

- ・会長 秋間 重乃
- ・会員数 490人
- ・総会 平成29年5月12日（金）
- ・役員会議等開催 15回

⑥更生保護サポートセンター伊勢崎の運営協力

企画調整保護司が常駐し、対象者との面接や定期駐在にセンターを活用、保護司会役員会等の開催を支援しました。

- ・企画調整保護司 7人

⑦団体等助成金事業

伊勢崎市内に活動拠点を置く当事者団体等に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数
当事者団体、援護団体	6
地区社協	1 1

(3) ふくしボランティア団体等への助成

伊勢崎市内に活動拠点を置くふくしボランティア団体等に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数
ふくしボランティア団体 (ボランティア・市民活動センターへ登録3年以上)	2 1
NPO団体	1

(4) 地域活動支援事業

新設ボランティア団体等への助成

平成29年度新たに地域福祉活動を開始した団体(事業)に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数
新設ボランティア団体等	4

8. 各支所との連絡調整

- (1) 赤堀支所に係る事業の連絡調整
- (2) あずま支所に係る事業の連絡調整
- (3) 境支所に係る事業の連絡調整

9. 共同募金会への協力

地域福祉と民間の社会福祉事業のための計画募金である「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」を、各行政区の区長はじめ、民生委員、ボランティア等関係団体の協力を得て実施するとともに、地域配分に係る申請受付・審査・配分業務を実施しました。

また災害時の対応として、火災にあわれた世帯に対して見舞金の贈呈を行ったほか、災害義援金の受付を実施しました。

- ・支会長 本田 稔
- ・運営委員会 3回
- ・募金委員会 2回
- ・運営委員・募金委員合同会議 1回

10. 戦没者等追悼式の執行

伊勢崎市から委託を受け、平成29年10月31日（火）伊勢崎市文化会館大ホールを会場に、遺族並びに地域福祉を担う関係者約628人が参列し、伊勢崎市戦没者等追悼式を行いました。

黙とう、追悼の辞、献花、小学生による「平和への想い」作文朗読等の式典をしめやかに執り行い、参列者一同が戦没者等諸霊に対し感謝と平和への祈りをささげ、平和な郷土を築くことを誓い、安らかなご冥福を祈念しました。

また、ロビーでは、「平和への想い」をテーマにした小学生の絵画を展示しました。

11. ボランティア・市民活動センター

(1) ボランティア活動に関する相談・斡旋（コーディネート）

①ボランティア活動相談件数	134件	
②ボランティア登録	個人	491人
	団体(130団体)	8,284人
		計8,775人

(2) ボランティアの養成講座開催・活動支援

・シニア傾聴ボランティアスキルアップ講座(新規)

傾聴ボランティアの活動を促進するために必要な知識に加え、相手の立場になって話を聴くことができるよう、より実践的なスキルアップ講座を実施しました。

平成29年9月27日（水） 78人参加

・脳トレ！ボランティア講座(新規)

福祉施設やサロン活動、災害避難所等でのボランティア活動で役立つ、レクリエーションを活用した脳トレーニングの手法と効果を学ぶ講座を実施しました。

平成30年2月15日（木） 145人参加

(3) 災害ボランティア事業

①災害ボランティアセンター設置時における運営ボランティア登録者募集

災害発生時に迅速に災害ボランティアセンターの運営を行うためのボランティアとして登録者を募集しました。

登録者数：34人

②九州北部豪雨災害街頭募金活動

・平成29年7月15日（土）

募金活動実施場所：いせさき七夕まつり会場

募金ボランティア協力者：ボランティアメール登録者・市内大学生・ボランティア協会
協力者数：延べ19人
募金者：約350人
募金総額：62,183円

③災害ボランティアセンター設置訓練

・平成29年9月9日（土）

災害時を想定し、ボランティアとの協働によりセンター設置訓練を実施しました。ニーズ受付から避難所支援等、より実践を想定した訓練で、9月の防災月間に合わせ実施しました。

訓練場所：緋の郷 円形交流館 多目的ホール

参加者数：104人

④災害・防災研修会

・平成30年2月6日（火）

いざという時に共に助け合い、協調できる体制づくりを学ぶ機会として、災害発生時における被災者支援・住民支援のあり方等について理解を深める研修会を実施しました。

参加者数：38人

(4) 市民ボランティアフェスティバルの開催（市と共催）

平成30年2月4日（日）緋の郷にて開催をしました。「つながろう世代 ゆったり楽しくボランティア」をテーマに、ブース展示、ステージ発表、バザーや子ども活動が行われ、53団体、一般来場者も含めて2,500人の参加、来場がありました。

(5) ボランティア・市民活動団体情報交換会の開催（市と共催）

・平成29年6月24日（土）「心と体で地域力アップ！～誰でもできるレクリエーション～」と題した参加型の講演や日赤奉仕団、ボランティア団体等の協力により非常食作成訓練に各種団体が参加し、団体交流や情報交換を行いました。

20団体 286人参加

・平成29年11月25日（土）「あなたの活動をPRしませんか」をテーマに、各種団体が参加し、情報サイト「まちづくりプロジェクト」を活用した取り組みの紹介や交流会を行いました。

8団体 25人参加

(6) 福祉教育の推進

社会福祉協力を1校指定し活動を支援するとともに、総合学習における車いす・高齢者疑似体験等の体験学習を各学校等において実施し福祉教育を支援しました。

①社会福祉協力校の指定

学童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉の関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるため、市内の小・中学校・高校を社会福祉協力校として指定、活動費の助成を行いました。

※平成29年度の指定校 殖蓮第二小学校

②総合学習への協力（福祉体験教室への支援）

市内の小学校から依頼を受け総合学習等の時間に車いす・高齢者疑似体験等の福祉教育を福祉教育サポーターと共に支援しました。

○福祉体験学習実施状況（学校別）

支 所	学 校 名	学年	クラス	人数	月別	内 容
伊勢崎	三郷小学校	4	4	128	6月	車いす体験
	茂呂小学校	4	4	122	10月	車いす体験
	北第二小学校	4	1	33	10月	車いす体験
	茂呂小学校	4	4	122	11月	高齢者疑似体験
	殖蓮第二小学校	4	2	69	12月	車いす体験
	三郷小学校	4	4	128	12月	高齢者疑似体験
	広瀬小学校	4	3	87	2月	車いす体験
赤堀	赤堀小学校	4	3	101	6月	車いす体験
	赤堀小学校	4	3	101	6月	ブラインドウォーク体験
	赤堀南小学校	4	3	92	6月	車いす体験
	赤堀東小学校	4	2	51	6月	車いす体験
あずま	あずま小学校	4	3	98	6月	車いす体験
	あずま北小学校	4	3	82	11月	車いす体験
	あずま南小学校	4	3	104	6月	車いす体験
境	境剛志小学校	5	2	65	6月	車いす体験
	境東小学校	4	2	68	11月	ブラインドウォーク体験
	境東小学校	5	2	50	1月	車いす体験
	境采女小学校	4	2	54	11月	車いす体験
合 計	14校（延18回）		50	1,555		

③ボランティアスクール

市内にある小中学校・高校・保護者向けに、優しさを育むボランティア講座を開催し、福祉の心を養う講座を開催しました。

「盲導犬とのふれあいと交流レクリエーション（手話教室）」

52人参加

(7) 介護支援ボランティア事業

65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人が、介護支援ボランティア活動を行うことを通じて、高齢者の社会参加・社会貢献活動の奨励、介護予防と生きがいがづくりの促進をするとともに、ボランティアが地域の支え手として活動できる地域社会づくりを推進しました。

- ・基本研修の実施

介護支援ボランティアについての概要説明、活動内容等について

計3回実施(平成29年6月6日(火)、10月5日(木)、平成30年3月14日(水))

- ・ボランティア活動対象施設

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所 計48施設

- ・活動実績

登録人数 325人(内、平成29年度新規登録人数 58人)

延べ活動人数 2,888人

延べ活動時間 3,925時間

(8) ままサロン“まま”のほっとステーション事業

子育てに悩みがちな母親がほっとできる空間をつくることを目的に、ボランティアの協力を得てサロンを開催しました。

○社会福祉会館ボランティアルーム(一部児童センターふれあいルーム)で毎月第3月曜日に開催

○12回開催 延べ参加者:244人(ボランティア含む)

(9) ボランティア・市民活動センター啓発事業

地域のイベントや事業に参加し、啓発品の配布やパネル展示等で積極的な啓発を行いました。

- ・平成29年10月 1日(日) 健康まつり(ジュニアリーダー、大学生、市民ボランティアと共に参加しました。)

- ・平成29年11月12日(日) 東京福祉大学学園祭(認知症支援ボランティアと共に参加しました。)

(10) ボランティアネットワーク事業

- ・登録制のボランティアメールを活用し、伊勢崎市内の福祉施設やボランティア団体などのボランティア募集・福祉関連イベント情報を配信しました。

メール登録施設:44施設

メール登録ボランティア団体:41団体

メール登録個人ボランティア:129人

- ・地域ボランティア団体連絡会を2回開催し、支え合う仕組みづくりについて協議連携を図りました。

平成29年11月15日（水）市社会福祉会館

「各地域での活動について情報共有」ほか

平成30年2月22日（木）境地域福祉センター

「境地域の特色ある活動について」ほか

(11) 認知症カフェ推進事業

認知症の人とご家族や、認知症について関心がある人など、誰でも立ち寄れ、ほっと過ごせる場づくりのため、ボランティアとの協働によりカフェ事業を推進しました。

平成28年度に1か所が立ち上がったのを歯切りに、平成29年度は新たに2か所が立ち上がりました。

- ・オレンジカフェよりみち

会場：市社会福祉会館（毎月第3水曜日の午前中を基本に開催）

- ・オレンジカフェほほえみ

会場：高齢者生きがいセンター（毎月第2木曜日の午前中を基本に開催）

- ・オレンジカフェおんたけやま

会場：境地域福祉センター（毎月第2月曜日の午前中を基本に開催）

12. 障害者相談支援センター

障害者総合支援法に基づく市町村の必須事業で、障害者の福祉に関する各般の相談に応じ、情報の提供及び福祉サービスの利用支援等を実施しました。また、事業を効果的に実施するため自立支援協議会（定例会）の運営を通じネットワーク構築、社会資源の開発・改善を推進しました。

市から業務委託を受けた（社福）伊勢崎市愛のはぐるま会、（社福）明清会、（社福）桑の実福祉会と共に市障害者センター内にて、伊勢崎市基幹相談支援センターとして、身体・知的・精神の三障害を対象に事業を実施しました。

また障害を持つ相談員（ピアカウンセラー）による障害当事者同士の相談支援（ピアカウンセリング）を実施しました。

①相談支援の実施状況（社会福祉協議会実施分＝主に身体障害を担当しました）

年間延べ支援者数	身体障害者	541人	身体障害児	1人
	重症心身障害者	32人	重症心身障害児	0人
	知的障害者	41人	知的障害児	2人
	精神障害者	60人	精神障害児	0人
	発達障害者	0人	高次脳機能障害者	9人
	その他（者）	108人	その他（児）	0人
	合計			794人 (実支援者数615人)

年間支援回数	訪 問	1 8 5 回	来所相談	7 3 回
	同 行	5 回	電話相談	2 5 1 回
	電子メール	4 回	個別支援会議	1 2 回
	関係機関	4 6 8 回	その他	4 回
	合 計	1, 0 0 2 回		
支援内訳 (うちピアカウンセリング)	福祉サービス利用	5 0 3 件 (3 2 件)	障害・病状の理解	3 件 (0 件)
	健康・医療	1 3 3 件 (7 件)	不安の解消・安定	1 1 8 件 (2 8 件)
	保育・教育	0 件 (0 件)	家族・人間関係	1 0 2 件 (5 2 件)
	家計・経済	2 1 件 (5 件)	生活技術	4 0 件 (1 0 件)
	就労	1 4 件 (1 件)	社会参加・余暇支援	2 1 件 (1 6 件)
	権利擁護	1 1 件 (1 件)	その他	7 8 件 (1 5 件)
	合 計	1, 0 4 4 件 (1 6 7 件)		

②市自立支援協議会(定例会)の運営

月	参加者	主な検討内容
5月	20人	自立支援協議会について・定例会について 他
6月	21人	市内の新規障害福祉サービス事業所の紹介 他
7月	19人	事例検討「社会的行動障害がある人の退院支援に向けて」
8月	0人	欠席者多数の為、中止
9月	34人	研修会「触法障害者の支援について」
10月	19人	事例検討「アルコール依存傾向のある聴覚障害者の生活支援について」
11月	16人	市虐待防止センターからの報告 他
1月	60人	研修会「地域で学ぶ意思決定支援」
2月	11人	今後の定例会のあり方について 他
計	200人	

13. その他の地域福祉推進

(1) 社会を明るくする運動への協力

歩行パレード等街頭での広報活動、講演会、公開ケース研究会、作文コンテストへの支援を行いました。

- ・平成29年6月20日（火） 伊勢崎佐波推進委員会及び実行委員会
- ・平成29年6月30日（金） メッセージ伝達式（伊勢崎市・玉村町他）
- ・平成29年7月15日（土） 歩行パレード
- ・平成29年8月10日（木） 社明講演会

(2) その他必要な事業

地域福祉の推進に必要な事業を実施しました。

□赤堀支所

1. 赤堀地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため会議を開催し、赤堀地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回会議 平成29年 5月19日（金）
- ・第2回会議 平成29年 8月23日（水）
- ・第3回会議 平成29年11月 6日（月）

(2) 事業の推進

赤堀地区社会福祉協議会各事業のほか、伊勢崎市社協(赤堀支所)事業の協力を行いました。

- ・赤堀地区金婚式記念式典 [平成29年11月11日：赤堀公民館]
- ・戸外サービス [平成30年3月5日：老人いこいの家]
- ・世代間交流事業 [各行政区 会議所等実施]
- ・ゆうあい昼食会事業 [平成29年10月16日：老人いこいの家] への協力
- ・介護予防・防災教室事業 [平成30年2月18日：赤堀公民館] への協力

2. 地域福祉活動の推進

(1) 友愛訪問事業

一人暮らし高齢者等で見守りが必要と思われる方に対し、地域ボランティアや民生委員が定期的に訪問し、安否確認や話し相手等の見守り活動を行いました。住民参加による地域福祉ネットワークを形成することができ、対象者の支援に役立ちました。

①定期友愛訪問（地域ごとに毎月1回）

ボランティアや民生委員による見守り活動。ヤクルトを持参。
訪問人数：延べ1,320人（12月は年末友愛訪問の実施）

②敬老友愛訪問（9月8日（金）敬老の日前後に訪問）

ボランティアによる手づくり品を贈り友愛を図りました。「巾着」を贈呈。
訪問人数：122人

③年末友愛訪問（12月6日（水）に訪問）

ボランティアによる手づくり品を贈り友愛を図りました。「お饅頭」を贈呈。
訪問人数：121人

(2) ふれあいサロン事業

地域の中で孤独になる人をつくらないということを目的として、小地域を単位としたふれあいの場を設け、サロン活動を推進しました。

- ・参加者 家に閉じこもりがちな高齢者等
延べ1,055人(17地区28回開催)
- ・協力団体 赤堀福祉ボランティアの会

(3) 世代間交流事業

少子高齢化や核家族化が進む中、地域が一体となってネットワークの充実を図り、住みよい地域社会をつくることを目的に実施される世代間交流事業に対する支援を行いました。

- ・実施主体 赤堀地区社会福祉協議会、伊勢崎市社会福祉協議会赤堀支所
- ・参加者 地域に居住する住民(子どもから高齢者、障害者等)
延べ3,143人(18地域、全36回開催)
- ・内容 グラウンドゴルフ、新一年生歓迎会と見守り隊交流会、芋ほり、交通安全教室、いこいの森清掃等

(4) ゆうあい昼食会事業

日頃、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に昼食会を開催し、食事しながら、近隣の同じ環境の高齢者との交流を深めました。

- ・日時 10月16日(月)
- ・会場 老人いこいの家
- ・参加者 家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者と支援者61人
- ・協力団体 赤堀福祉ボランティアの会、赤堀地区社会福祉協議会

(5) 介護予防及び防災教室事業

介護予防の大切さ等を広く住民に認識していただくとともに、介護予防体操も行いました。また、防災意識を高め、安心して暮らせる地域の基盤づくりを推進するために、災害に対する心がけの講話を行いました。

- ・日時 2月18日(日)
- ・共催 磯沼荘事業所、赤堀地区社会福祉協議会
- ・会場 赤堀公民館1階ホール
- ・参加者 44人

(6) 子育てサロン

子育ての当事者など、地域住民が多様な活動を通じて、子育てを楽しみながら仲間づくりを行い、支え合える活動に対する支援を目的に事業を行いました。

- ・開催 毎月1回(計12回)
- ・会場 地域の集会所等

- ・対 象 未就学の子ども、母親（毎回20人程度参加）
- ・共 催 赤堀福祉ボランティアの会

（7）福祉体験教室への支援

総合学習における車いす体験・ブラインドウォーク体験学習において福祉教育を支援しました。

○車いす体験支援：赤堀小4年（3クラス）101人・赤堀南小4年（3クラス）92人
赤堀東小4年（2クラス）51人

○ブラインドウォーク体験支援：赤堀小4年（3クラス）101人

（8）赤堀地区地域包括ケアネットワークとの連携

赤堀圏域の第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・あかぼり地域支え合い協議体 毎月第3水曜日 赤堀公民館で開催

□あずま支所

1. あずま地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため会議を開催し、あずま地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回会議 平成29年 4月17日(月)
- ・第2回会議 平成29年 8月25日(金)
- ・第3回会議 平成29年10月27日(金)

(2) 事業の推進

あずま地区社会福祉協議会の各事業の実施を支援しました。

- ・あずま地区金婚・ダイヤモンド婚記念式典〔平成29年11月23日(木)：あずま公民館〕
- ・戸外サービス事業〔平成29年6月27日(火)：茂美の湯〕
- ・ふれあい事業〔ひとり暮らし高齢者ふれあい昼食会：年4回〕への協力
- ・赤い羽根共同募金法人募金〔平成29年11月10日(金)〕への協力
- ・あずま福祉まつり〔平成29年10月29日(日)：みやまセンター〕への協力

2. 地域福祉活動の推進

(1) 友愛訪問事業

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、月1回友愛訪問を兼ねて自宅に弁当をお届けしました。高齢者の安否確認、コミュニケーション活動として実施し、あずま地区民生委員・児童委員とボランティアが1ヶ月交代で協力していただきました。

- ・月平均利用者 41人
- ・延べ利用人数 488人

(2) ふれあい事業「ひとり暮らし高齢者ふれあい昼食会」

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、あずま地区民生委員・児童委員の協力により年2回、あずまボランティアの会の協力により年2回の計4回実施。

舞踊、フラダンス、八木節等の催し物の後、手作りの料理で昼食を楽しみ、ふれあいの場仲間づくりの場を提供しました。

- ・実施日 平成29年5月28日(日)、9月17日(日)、11月26日(日)、平成30年2月25日(日)
- ・会場 みやまセンター 大広間
- ・参加者 延べ 540人

(3) 子育てサロン

子育て中の親子が気軽に参加し、情報交換や遊びなどを通して交流を深めることで、育児を楽しみながら仲間づくりや子育ての悩み等を相談・共有できるよう、ふれあいの場を提供しました。

- ・実施日 毎月1回（計12回）
- ・会場 高齢者生きがいセンター
- ・対象 未就学の子ども、母親
- ・参加者 延べ 661人
- ・内容 アロマスプレー作り、小物入れ作り、七夕飾り、お豆腐団子作り、バルーンアート、紙芝居、読み聞かせ、クリスマス会、親子ふれあい体操等
- ・協力 民生委員・児童委員、ボランティア等

(4) ひとり暮らし高齢者ふれあいお茶会事業

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、民生委員・児童委員協力のもと、新年の顔合わせを兼ねて初釜の抹茶をいただき、お茶の作法や歴史について学びました。

参加者同士、談笑しながらふれあい、楽しいひとときを過ごしていただきました。

- ・実施日 平成30年1月16日（火）
- ・会場 高齢者生きがいセンター
- ・参加者 96人

(5) 高齢者いきいき講座事業

高齢者の介護予防及び日常生活上の自立を目的に健康の増進を図りながら生きがい・健康づくりに関する健康体操・健康講座・料理教室などを行い活力ある地域社会づくりをめざすことを目的に開催しました。

- ・実施日 毎月第3木曜日（全12回）
- ・会場 高齢者生きがいセンター
- ・参加者 延べ 287人
- ・内容 健康体操、料理教室、健康講座（介護予防、健康講話、アコーディオン演奏ミュージックケア、小物作り等）

(6) あずま福祉まつり事業

「助け合い・支え合いで育む“あずま”の絆づくり」をテーマに、地域福祉活動の推進、社会福祉の啓発を図り、地域住民、子どもと高齢者等と一緒に集い、地域の絆を実感し地域福祉の推進につながるよう福祉まつりを開催しました。

福祉講演会や社協事業・各種団体の活動紹介、子育てサロンを行うと共に、東消防署の体験コーナー、福祉施設による物品販売、中学校や愛好会等によるハンドベル、ダンス、踊り等の催し物や無料模擬店などで会場がにぎわいました。

- ・実施日 平成29年10月29日（日）

- ・会 場 みやまセンター
- ・参加者 185人
- ・講 演 「本当の『モノを大切に』とは」
講師：尾高 理恵子 氏

(7) ボランティア養成講座

ボランティア活動で大切なこと、ボランティア活動をよりよい活動としていくための基本的な知識を学習し、地域にとってのボランティアの必要性の理解と今後の協力体制ができるようボランティアを育成するため養成講座を開催しました。

- ・実施日 平成30年3月7日（水）
- ・会 場 高齢者生きがいセンター
- ・参加者 27人
- ・内 容 ○講義「ボランティア活動のマナー・心がけ」
○活動紹介・交流
 - ・ボランティア活動において大切なこと
 - ・あずま地区のボランティア活動について

(8) 世代間交流事業

少子高齢化や核家族化が著しく進行している中、高齢者世代と子ども世代との交流を地域で図ることを目的に実施される世代間交流事業に対する支援を行いました。

- ・実施日 平成29年12月15日（金）、平成30年3月9日（金）
- ・会 場 あずま北小学校、あずま南小学校
- ・参加者 延べ 224人
- ・内 容 昔遊び（けん玉、輪投げ、おはじき等）

(9) 福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

- ・平成29年 6月16日（金）あずま小学校 4年生 98人 車いす体験
- ・平成29年 6月28日（水）あずま南小学校 4年生104人 車いす体験
- ・平成29年11月 2日（木）あずま北小学校 4年生 82人 車いす体験

(10) あずま地区地域包括ケアネットワークとの連携

東圏域の第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・あずま地区協議体 毎月第4金曜日 高齢者生きがいセンターで開催

□境支所

1. 境地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

境地区社会福祉協議会の事務局として、役員会議等を開催し、支援体制づくりに務めました。

【第1回】 平成29年 5月18日(木)

【第2回】 平成29年 6月20日(火)

【第3回】 平成29年 11月9日(木)

【戸外サービス準備会議】

平成29年 9月20日(水)

(2) 事業の推進

- ・境地区金婚記念式典(平成29年11月22日(水):境地域福祉センター)
- ・戸外サービス事業(平成29年9月26日(火):天然温泉かんなの湯)

2. 地域福祉活動の推進事業

(1) 給食サービス事業

①給食サービス

見守りの必要な境地区内に居住する地域住民との交流の少ない一人暮らしまたは二人暮らしの高齢者世帯で、食事の準備が困難な方等を対象にボランティアが手作り弁当を手渡ししながら、安否確認・友愛訪問を行いました。

当日の調理から各中継地点へ車での配達、行政区単位の利用者への手渡しまで、境ボランティア連絡協議会会員及び個人ボランティアの協力を得て行いました。

- ・実施日 第1～第4木曜日の月4回
- ・延べ実施回数 45回
- ・延べ配食数 2,453食
- ・関係ボランティア 1,100人

②食品衛生講習会

給食サービスを実施するにあたり、食中毒等の事故防止のため、食品衛生について講習会を開催しました。

- ・実施日 4月26日(水)
- ・参加者 125人
- ・演題 「給食施設における衛生管理」
- ・講師 手塚 秀氏(藤岡保健福祉事務所 食品監視係長)

(2) 介護予防講座

市民が介護予防についての知識や方法を理解し、地域全体で介護予防に取り組む環境整備と意識啓発を行うため実施しました。

【第1回】

- ・実施日 10月25日(水)
- ・参加者 38人
- ・講座内容 『『できる・支える』生活力・頭脳力2017』
- ・講師 内田 陽子 氏

【第2回】

- ・実施日 1月22日(月)
- ・参加者 13人
- ・講座内容 「脳科学から考えるお口の話」
- ・講師 堀 直子 氏

【第3回】

- ・実施日 2月27日(火)
- ・参加者 24人
- ・講座内容 「食からはじまる健やか生活」
- ・講師 狩野 里菜 氏

(3) 筋力トレーニング講習会

市内全域の高齢者が、健康で豊かな老後を送れるよう、介護予防に効果のある筋力トレーニングの普及と地域指導者のレベルアップを図ることを目的として実施しました。

- ・実施日 第1回 7月19日(水)、第2回 11月10日(金)、
第3回 3月2日(金)
- ・延参加者 215人
- ・講師 医学博士・理学療法士 浅川康吉 氏
- ・対象者 筋力トレーニング地域支援者、
筋力トレーニング指導者連絡協議会会員 ほか
- ・協力団体 伊勢崎市介護予防筋力トレーニング指導者連絡協議会

(4) 障害者サロン

精神障害をもつ人が気軽にかつ自由に集い、楽しみながら情報交換や交流、仲間づくりを行う場を提供することを目的に、ボランティアの協力によりサロン活動を実施しました。

- ・実施日 毎月第1土曜日 第3金曜日(月2回実施) 全22回
- ・参加者 市内在住の精神障害者及びボランティア等延べ549人
- ・協力団体 社会福祉法人やよい福祉会、障害者福祉ボランティア「そよ風」
精神障がい者ピアカウンセラー

(5) 高齢者いきいき講座

高齢者が健康で心豊かな生活を営むことができるよう、多様な内容で生きがいをづくりや健康づくりを行うことを目的に開催しました。

- ・実施日 8月15日、9月19日、10月17日、11月21日、
12月19日、1月16日、2月20日、3月20日
- ・内容 「ウォーキング講座」、「みんなでレクリエーション」、「合唱」、「そば打ち」等
- ・会場 境地域福祉センター、境公民館
- ・参加者 延べ182人
- ・対象者 市内在住の高齢者で全日程受講できる人

(6) 子育てサロン

子育て中の親と子が楽しみながら仲間をつくり、互いに支えあう活動の支援を行うことを目的に事業を実施しました。

- ・開催 毎月2回（計24回）
- ・会場 境地域福祉センター
- ・対象 未就学の子ども、母親
- ・参加者 延べ573人
- ・開催 境児童センター
- ・協力 民生委員・児童委員、ボランティア

(7) 福祉体験教室への支援

小学生を対象に福祉体験学習の指導を行い、自分で実際に体験することにより、相手の立場を理解し、思いやりの気持ちを持って接することができるよう学習しました。

- ・実施日 6月16日 境剛志小学校 5年生65人 車いす体験
- 10月17日 境東小学校 4年生68人 ブラインドウォーク体験
- 1月23日 境采女小学校 4年生54人 車いす体験
- 2月6日 境東小学校 5年生50人 車いす体験

(8) 子育て支援事業（夏休み宿題自習室）

小学生を対象に、夏休み期間仲間と一緒に学習するための場所を提供することを目的に実施しました。

- ・実施日 8月2日～9日（延べ5日）
- ・会場 境地域福祉センター並びに境児童センター
- ・参加者 延べ135人
- ・指導者(リーダー) 元教職員2人
- ・対象者 市内在住の小学生

(9) 電話でお話し相手事業

地域の人と交流の少ない高齢者を対象に、傾聴のボランティアが電話による話し相手を行い、孤立感の解消や関係機関等への橋渡しを行いました。

- ・実施日 第1～第4木曜日
- ・会場 境地域福祉センター
- ・対象 市内在住の高齢者
- ・利用件数 287件
- ・協力団体 傾聴ボランティア「たんぽぽ」

(10) 地域災害講座

災害に対して何を備えればいいのか、また地域やボランティアなどで何ができるかについて、地域福祉、防災の観点から学びました。

- ・実施日 12月4日(月)
- ・参加者 24人
- ・講座内容 「洪水から身を守るために」
- ・講師 国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所
防災対策課 課長 濱 善久 氏

(11) ボランティア体験スクール

これからを担う中学生が、ボランティア体験を行い、人との関りで大切なものに気付くこと、同世代の仲間と共にボランティア活動への関心を高めることを目的に実施しました。

- ・実施日 8月9日(水)・8月10日(木)
- ・内容 「高齢者施設でのボランティア体験」
「レクリエーション活動」「給食サービス体験」等
- ・参加者 延べ人数8人
- ・対象者 市内在住の中学生
- ・協力 いこいの里、境ボランティア連絡協議会、個人ボランティア、

(12) 介護保険事業の支援

地域包括支援センター境主催の地域包括ケアに関する講座の周知協力を努めました。

(13) 境地区地域包括ケアネットワークとの連携

境圏域の第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・境圏域協議体 隔月 境地域福祉センターで開催

□在宅福祉課

1. 介護保険事業の経営

利用者が住み慣れた地域の中で、可能な限り自立した生活を営むことが出来るよう、介護度が重くなることを防止し、現状の介護状態を維持または改善することを目的に、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴事業、通所介護(デイサービス)事業を実施しました。

また、介護保険事業経営改善検討委員会を設置し、経営改善に係る諸課題を検討し、経営の安定を図りました。

(1) 居宅介護支援事業

ケアプランの作成、予防ケアマネジメント、介護認定調査、住宅改修等の支援を行う事業であり、伊勢崎・あずま・磯沼荘の各事業所で実施しました。

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるような、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行いました。

○ 居宅介護支援事業実績

(単位：件)

	ケアプラン	予防マネジメント	介護認定調査	住宅改修
伊勢崎事業所	1,167	252	110	9
あずま事業所	1,172	402	137	8
磯沼荘事業所	1,227	304	169	8
計	3,566	958	416	25

(介護認定調査受託市区町村：19市区町村)

(2) 訪問介護事業

要介護者や要支援者に対し、介護福祉士などの資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施しました。

① 利用者の世帯状況 (平成30年3月31日現在)

(単位：人)

区分	独居	夫婦2人	家族同居	計
男	35	10	3	48
女	56	11	20	87
計	91	21	23	135

② 利用者の要介護度（平成 30 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	7	10	11	12	3	3	2	48
女	9	28	16	16	6	6	6	87
計	16	38	27	28	9	9	8	135

③ 利用者の年齢階層（平成 30 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

区分	69 歳以下	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳以上	計
男	8	6	5	7	13	8	47
女	7	8	11	25	19	18	88
計	15	14	16	32	32	26	135

④ 訪問介護事業実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
14,731 回	13,893.5 時間	1,434 人

⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービス・介護予防訪問介護事業実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
3,849 回	3,849.0 時間	564 人

⑥ 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス A（基準緩和訪問型）実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
161 回	161.0 時間	39 人

⑦ 福祉有償運送実績

延利用回数	延利用者数
406 回	138 人

(3) 訪問入浴事業

家庭での入浴が困難な要介護・要支援者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の世帯状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

区分	独居	夫婦 2 人	家族同居	計
男	2	3	5	10
女	1	4	10	15
計	3	7	15	25

② 利用者の要介護度（平成 30 年 3 月 31 日現在） （単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	1	2	1	4	8
女	0	0	0	1	1	6	9	17
計	0	0	1	2	3	7	13	25

③ 利用者の年齢階層（平成 30 年 3 月 31 日現在） （単位：人）

区分	69歳以下	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男	3	2	0	1	0	3	9
女	2	1	6	0	2	5	16
計	5	3	6	1	2	8	25

④ 訪問入浴事業実績

延訪問回数	延利用者数	入浴車台数
1,557回	316人	4台

(4) 通所介護（デイサービス）事業

通所事業は、あずまデイサービスセンター、磯沼荘デイサービスセンターの2事業所で実施しています。

サービス内容は、通所介護計画に沿って、入浴介助（一般入浴または機械浴槽を使用しての入浴）、送迎サービス、食事サービス（栄養並びに利用者の身体の状況及び嗜好を考慮した食事を提供）、機能訓練（心身等の状況に応じて日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するための訓練を実施）、その他必要な介護等を実施しました。

① あずまデイサービスセンター

季節に応じて地域参加型のイベントを企画し、地域の方や利用者と家族の交流が図られるよう事業を実施し、家族との連携を密にすることで安心して利用いただけるほか、家族の介護負担の軽減にも大きな成果を挙げています。また、利用者の生活リズムや健康状態を常に把握し、栄養士が作成する献立による食事、入浴、機能訓練、口腔ケアなど、利用者のニーズにあったサービスを心掛けました。

事業名	事業内容
夏祭り	<p>8月2日（水）～4日（金）の3日間、日々の生活に刺激を与えることで心身のリフレッシュを図ることを目的に、職員は元よりご家族を交え地域の方々にもご協力をいただき、地域参加型の夏祭りを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能発表：フラダンス、八木節、アコーディオン演奏 ・ゲーム：お菓子すくい、射的 ・模擬店：かき氷、たこ焼き、蒸しじゃがバター、ジュース ・協力団体：あずま地区民生児童委員協議会、あずまボランティアの会 ・延べ参加人数：78人
お花見事業	<p>普段外出の難しい利用者にセンター敷地内の桜や水生公園の花を眺めて季節感を味わう体験をしてもらうため、開花状況を考慮しながら企画実施しました。</p> <p>☆桜花見学 H29. 4月7日（金）・8日（土）・10日（月）・13日（木）・14日（金） H30. 3月31日（土）</p> <p>☆花菖蒲（あずま水生公園）6月13日（火）～17日（土）・19日（月）に利用者の方と歩いて行き、見学することが出来ました。</p> <p>☆コスモス花見（小泉町周辺）10月18日前後で送迎時見学することが出来ました。</p>
お誕生会	<p>デイルームにおいて、9月は敬老の日、12月はクリスマス会を兼ねて、誕生日を迎えた人を毎月お祝いしました。時折、ボランティアの方々による踊りや演奏等の演芸を披露していただきました。お誕生日の方には職員による季節の花で飾った手作りの写真付きの色紙をプレゼントし、歌をうたい、ケーキと紅茶で楽しいひと時を過ごしました。</p>
あずま中学校ボランティア部による慰問	<p>5月20日（土）、7月21日（金）、12月27日（水）、3月28日（水）に、あずま中学校ボランティア部の生徒がデイサービスに来所し、ハンドベルやダンスを披露してもらいました。歌をうたったり会話をしたりしながら交流を図りました。</p>
マーチングバンドの見学	<p>10月11日（水）赤堀小マーチングバンドを觀に磯沼荘へ出かけ他の施設の利用者と共に手拍子をしながら演奏を楽しみました。</p>
ミニ運動会	<p>秋のスポーツシーズン10月23日（月）～28日（土）にレクリエーションの時間を使い、ビー玉リレー、パン食い競争、玉入れの競技を行いました。玉入れは曜日対抗戦として楽しみました。</p>
吹奏楽部の演奏	<p>11月25日（土）赤堀中吹奏楽部の演奏鑑賞に磯沼荘に出かけ、迫力ある演奏を楽しみました。</p>
機能訓練	<p>毎日、利用者の機能の維持・向上を目的に、機能訓練指導員（看護師）が中心となり、各介護員と連携をとりつつ、入浴前後、昼食前後の時間に個別に下記のような訓練を行いました。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行訓練、筋力強化訓練、階段昇降訓練、滑車訓練、立ち上がり訓練、横歩き訓練、エアロバイク、握力強化訓練 ・塗り絵、計算問題、パズル、折り紙、ゴミ箱折り、集団レク等 ・軽体操、健康リズム体操
口 腔 ケ ア	口腔機能向上サービスを実施しました。利用者の口腔内の状態を把握するため、月2回歯科衛生士の診察を実施しました。治療が必要とされる利用者へ歯科衛生士に手紙を書いてもらい、受診して頂くよう促しました。また、昼食前に「お口の体操」、昼食後は歯磨き、口腔清拭、義歯洗浄、舌磨きを行い、口腔機能の向上を図りました。
音 楽 リ ハ ビ リ	毎月1回、講師の伴奏に合わせて集団で歌を歌うことで気分が上昇し、リラックスできました。
体 操 リ ハ ビ リ	毎月1回、訓練を行う能力を有する者の指導のもと、講師のかけ声やカウントにより、身体に無理のない範囲内で運動を行い、皆さんと一緒に楽しく積極的に正しい方法で身体を動かす事が出来ました。
消 防 訓 練	平成29年9月28日（木）及び平成30年3月8日（木）に、みやまセンターと合同で消防訓練を実施しました。

② 磯沼荘デイサービスセンター

要支援者の受け入れを行うとともに、医療依存の高い利用者や、認知症重度者を受け入れ共存しながら本人らしく生活を送ることができるように、看護、介護のスタッフが連携し、利用者の生活リズムや健康状態を把握しながら、常に利用者の声に耳を傾ける事が出来る体制をつくりました。入浴、食事、機能訓練、口腔ケア等、利用者にあわせたサービスを提供することで、利用者が自信をもち、日常生活において通常欠かすことの出来ない基本動作（食事、排泄、入浴など）や、ADLの維持・向上につなげることが出来ました。また、家族との連携を図ることで、安心して利用していただくとともに、家族の介護負担も、大きく軽減する事が出来ました。

事 業 名	事 業 内 容
磯沼荘デイサービスセンターお花見事業	<p>桜の見学(磯沼) 4月10日（月）～15日（土）（6日間） 隣接する磯沼の桜のお花見会を実施しました。青天の日には、満開の桜を見ながら、春の歌をうたい楽しい時間を過ごしました。</p> <p>小菊の見学(小菊の里) 11月1日（水）～13日（月）（7日間） 小菊の里まで歩いて移動し、綺麗な菊を観賞しました。</p> <p>季節の花を観賞することで季節感を感じ、職員及び利用者同志のコミュニケーションを図ることが出来ました。</p>

<p>ボランティアによる演奏会等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ会 毎月開催 ・ADL体操 毎月開催 ・南京玉すだれ 7月25日(火) ・大正琴演奏会 7月31日(月) ・よさこい踊り 8月17日(木) ・サクソ演奏 9月28日(木) ・日本舞踊 11月6日(月) ・ハーモニカ演奏会 12月5日(火) ・幻灯を使った紙芝居 12月16日(土) ・歌謡ショー 1月27日(土) <p>毎月開催の読み聞かせでは、耳をすまし熱心に傾聴する姿がみられました、ADL体操では輪になり全員参加で体操を取り入れたゲームや合唱など行い、皆様、楽しそうに参加されているご様子でした。</p> <p>慰問の方が披露して下さる曲に合わせ、手拍子をしながら皆様、嬉しそうに聴かれておられました。楽器の綺麗な音色を聴き、気分転換ができたご様子でした。</p>
<p>赤堀小学校マーチング演奏会</p>	<p>10月11日(水) 磯沼公園北側駐車場 小学生110人 参加者180人</p> <p>秋晴れの下、他の事業所の利用者を招待し、約20分間、マーチングバンドの演奏を楽しみました。感極まって涙を流す方もいらっしゃり、職員も感極まってしまう場面もありました。</p> <p>若く力強い演奏に触れ元気と希望を与えてもらいました。また、他の事業所との協同事業として、地域との関わりを深められました。</p>
<p>磯沼荘祭り</p>	<p>10月19日(木)～21日(土) 磯沼荘ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19日…フラダンス・くわまと写真撮影会・お菓子釣り・射撃 ・20・21日…職員による催し物・くわまと写真撮影会・お菓子・釣り・射撃 <p>3日間、お祭り週間として開催。利用者と職員が一緒になって、祭りの準備を行いました。当日は利用者と赤堀音頭や手話でふるさとを踊り、ゲームなども楽しみました。フラダンスや職員の催し物をみて笑いが絶えませんでした。昼食やおやつはお祭り特別メニューを提供。記念品として、フォトフレームに、くわまとの写真をプレゼント。皆様、とても喜んでおられました。</p> <p>催し物や、美味しい食事を皆さんと一緒に楽しむことで、コミュニケーションを図ることができました。</p>

敬老会	<p>9月13日（月）～9月16日（土）</p> <p>敬老の日のお祝いとして、90歳以下の方には感謝状、90歳以上の方には表彰状をプレゼントさせていただきました。最後には皆で写真撮影を行いました。</p> <p>自分の歳や敬老の日を思い出すきっかけとなり、プレゼントを嬉しそうに受け取ってくださいました。</p>
ハロウィンパーティー	<p>10月30日（月）～10月31日（火）</p> <p>利用者は帽子や髪飾りで変装し、記念写真を撮りました。また、ハロウィン特別レクリエーションを開催し、盛り上がりました。</p> <p>利用者と職員が一緒になって季節の行事を楽しむことによって、連帯感が生まれ、お互いの結束を強くすることができました。</p>
赤堀中学校吹奏楽部演奏会	<p>11月25日（土） 磯沼荘北側駐車場 部員67名 参加者57名</p> <p>他の事業所の利用者を招待し、約20分間、演奏を楽しみました。</p> <p>若く力強い演奏に触れ元気と希望を与えてもらいました。また、他の事業所との協同事業として、地域との関わりを深められました。</p>
お誕生日会	<p>毎月、該当する利用者に、職員の手作りのプレゼントを渡し、皆で、ケーキを食べて、お祝いの歌をうたいました。</p> <p>誕生日会を行うことで、改めて自分の誕生日を思い出す姿が見られ、現実感(日付、曜日)の改善につながりました。</p>
クリスマス会	<p>12月18日（月）～22日（金）</p> <p>利用者に、サンタクロースの衣装を着ていただき写真撮影を行いました。職員も一緒にサンタクロースの衣装を着て一緒に楽しみました。</p> <p>クリスマスプレゼントとして、靴下をプレゼントし、皆様喜ばれておられました。</p> <p>利用者にクリスマスの気分を味わっていただき、笑いも飛び交い、楽しい時間を一緒に過ごし、ストレス解消につながりました。</p>
節分の豆まき	<p>2月2日（金）・2月3日（土）</p> <p>レクリエーションの時間に鬼のお面を作り、作ったお面をかぶり豆まきをしました。色とりどりのお面が出来上がり個性的なお面も見受けられました。</p> <p>催しごとを行う事で、笑顔が見られ季節感を感じる事が出来ました。皆様、笑顔で参加され一年の無病息災を皆様に願いました</p>
ひな祭り	<p>3月1日（木）・3月2日（金）</p> <p>ひな祭りの特別メニューで太巻き寿司、いなり寿司を召し上がっていただきました。</p> <p>また、折り紙で雛人形作りを行い、壁に飾りました。</p> <p>美味しいご飯を頂きながら、全員で祝いました。昔を思い出し、楽しかった記憶が蘇ったようで、皆さんの生き活きとした表情が見られました。</p>

個別機能訓練	AM 11:15~11:30 PM 2:30~2:45、PM 3:30~ 3:45 の時間帯で、利用者の身体機能の維持向上を目的として、毎日実施しました。 <訓練内容> 集団体操、リズム体操、ラジオ体操、運動器具を使用した運動、起立訓練、歩行訓練、他 自分にあったペースで、無理のない機能訓練を実施することができました。
口腔機能訓練	毎日の支援、指導内容 ・食前の健康体操（嚥下体操、舌のトレーニング、唾液の分泌を良くするトレーニング） ・食後の口腔ケア（ブラッシング指導、磨き残しの確認、義歯の清掃、口腔内の異常の確認） ・月2回の歯科衛生士による、口の中の健康チェック、義歯洗浄、他利用者が一生美味しく、楽しく安全な食生活を営むことが出来るとともに、口腔内の異常の早期発見、確認が行えました。在宅では、なかなか出来ない口腔清掃、感染予防、清潔保持、口腔ケアの習慣付けが徐々に出来つつあります。
火災訓練	平成29年9月26日（火） 磯沼荘デイサービスセンター 職員12名 利用者数20名 あかねの館 職員3名 利用者数6名 平成30年3月29日（木） 磯沼荘デイサービスセンター 職員9名 利用者21名 あかねの館 職員3名 利用者5名 磯沼荘消防計画に基づき、2回実施しました。29年9月は磯沼荘厨房ローレンジ付近からの出火を想定し、消防署員立会のもと、消火訓練を実施しました。30年3月は地震発生により、厨房より出火を想定した訓練を実施しました。（自主訓練）

③ 利用者の世帯状況（平成30年3月31日現在）

（単位：人）

区分		独居	夫婦2人	家族同居	計
あずま事業所	男	0	0	10	10
	女	2	1	16	19
磯沼荘事業所	男	2	0	9	11
	女	11	3	25	39
計	男	2	0	19	21
	女	13	4	41	58
総計		15	4	60	79

④ 利用者の要介護度（平成 30 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

区 分		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
あ ず ま 事 業 所	男	0	0	1	4	1	3	1	10
	女	0	1	5	6	5	1	1	19
磯 沼 荘 事 業 所	男	0	1	4	2	4	0	0	11
	女	7	6	12	6	5	3	0	39
計	男	0	1	5	6	5	3	1	21
	女	7	7	17	12	10	4	1	58
総 計		7	8	22	18	15	7	2	79

⑤ 利用者の年齢階層（平成 30 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

区 分		69 歳 以下	70 歳 ～74 歳	75 歳 ～79 歳	80 歳 ～84 歳	85 歳 ～89 歳	90 歳 以上	計
あ ず ま 事 業 所	男	1	2	1	1	3	2	10
	女	1	0	1	4	5	8	19
磯 沼 荘 事 業 所	男	1	0	1	2	4	3	11
	女	1	2	1	4	16	15	39
計	男	2	2	2	3	7	5	21
	女	2	2	2	8	21	23	58
総 計		4	4	4	11	28	28	79

⑥ 通所介護事業実績

	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1 日平均利用		
				送迎	機械入浴	一般入浴
あ ず ま 事 業 所	298 日	371 人	4,478 人	14.8 人	6.7 人	8.0 人
磯 沼 荘 事 業 所	298 日	479 人	5,272 人	19.1 人	7.4 人	10.6 人
計	596 日	850 人	9,750 人	33.9 人	14.1 人	18.6 人

⑦ 介護予防通所介護事業実績

	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1 日平均利用		
				送迎	機械入浴	一般入浴
あ ず ま 事 業 所	0 日	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
磯 沼 荘 事 業 所	64 日	8 人	64 人	1.0 人	0.0 人	1.0 人
計	64 日	8 人	64 人	1.0 人	0.0 人	1.0 人

⑧介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス（介護予防通所介護相当）実績

	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1日平均利用		
				送迎	機械入浴	一般入浴
あずま事業所	87日	23人	87人	1.0人	0.0人	1.0人
磯沼荘事業所	298日	112人	982人	3.4人	0.1人	2.8人
計	385日	135人	1,069人	4.4人	0.1人	3.8人

2. 障害者福祉サービス事業の実施

(1) 障害者総合支援事業

障害者総合支援法に基づき、支給決定（または認定）を受けた障害者（児）に対し、居宅において、入浴、排泄、食事等の身体介護や、調理、洗濯、掃除等の家事支援並びに生活等に関する相談助言、その他の生活全般にわたる援助を行うものであり、伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の障害の区分（平成30年3月31日現在）（単位：人）

区分	身 体	重 度	知 的	精 神	児 童	計
男	8	1	2	13	0	24
女	3	0	5	19	0	27
計	11	1	7	32	0	51

② 利用者の年齢階層(障害者)（平成30年3月31日現在）（単位：人）

区分	18歳～29歳	30歳～49歳	50歳～64歳	65歳以上	計
男	0	5	17	2	24
女	1	16	8	2	27
計	1	21	25	4	51

③ 障害福祉サービス提供実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
5,834回	6,906時間	612人

(2) 地域生活支援事業

① 移動支援サービス

屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立した生活及び社会参加を促すことを目的とする事業で、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出時の移動を支援しました。

○移動支援サービス提供実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
395 回	442.5 時間	117 人

② 訪問入浴サービス

居宅での入浴が困難な障害者等に、身体の清潔の保持のため、介護保険による訪問入浴と同様のサービスを提供しました。

○訪問入浴サービス提供実績

延訪問回数	延利用者数
473 回	61 人

3. その他

(1) 研修支援事業（資格取得のための実習生受け入れ）

介護支援専門員実務研修受講試験の合格者や介護職等の資格を取得するために必要な実習の受け入れを行い、介護事業に必要なマンパワーを育成することに寄与しました。

また、教員免許取得希望者に対する社会福祉施設等における介護等体験を受け入れました。

① 介護支援専門員実務研修実習

	依 頼 者	実人数	実日数	延時間
伊勢崎事業所	群馬県社会福祉協議会	3 人	9 日	63 時間
あずま事業所	群馬県社会福祉協議会	2 人	6 日	42 時間
磯沼荘事業所	群馬県社会福祉協議会	3 人	9 日	63 時間
合 計		8 人	24 日	168 時間

② 介護実習同行訪問

	依 頼 者	実人数	実日数	延時間
伊勢崎事業所	前橋医療福祉専門学校	1 人	3 日	24 時間
	群馬社会福祉専門学校	1 人	1 日	8 時間

③ デイサービス実習（通所介護施設現場実習）

	依 頼 者	実人数	実日数	延時間
あずま事業所	足利短期大学付属高校	1人	3日	18時間

④ 教員免許取得希望者に対する介護等体験（通所介護）

	依 頼 者	実人数	実日数	延時間
あずま事業所	群馬県社会福祉協議会	0	0	0
磯沼荘事業所	群馬県社会福祉協議会	1人	5日	30時間
合 計		1人	5日	30時間

(2) 介護予防フェスタ2017への参加

平成29年11月12日（日）「お年寄りになった自分を体験しよう!!」出展

(3) 市民ボランティアフェスティバルへの参加

平成30年2月4日（日）市民ボランティアフェスティバルの社協ブースで展示

□施設管理課

1. 指定管理施設の管理運営

(1) ふくしプラザ

高齢者及び障害者の健康の増進及び生涯学習の振興を図るとともに、社会参加を促進するため各種事業を実施しました。

I 年間入館者数

(単位：人)

使用場所	浴室・交流室、 トレーニングルーム		会議室、 セミナールーム	多目的ホール	ワークショップ その他	合 計
	無料 (うち障害者)	有料				
利用者数	45,881 (688)	423	24,081	13,193	61,491	145,069

・年間開館日数 283日

・開館時間 午前9時～午後10時

II 事業実施状況

利用者の増加を図るために実施した事業内容は次のとおりです。

事業名	内容	効果
第27回健やか学級	午前9時30分～11時30分 5月15日～3月19日までの実施 実施回数20回、参加者延べ563名 文化財探訪・暮らしの中の法律等各教室講座や運動の実施、また、屋外活動などの生きがい、健康、仲間づくりの連続講座を実施しました。	生涯学習活動等のきっかけづくりの場を提供し、参加者は学級終了後もグループ活動を継続していくこととなりました。
レクリエーション 軽スポーツ教室	第1～第4木曜日 午後1時30分～3時30分 4月13日～3月22日までの実施 実施回数38回、参加者延べ1,218名 軽スポーツを通じて親睦、交流を図り仲間づくりと併せ、心と体の健康維持を図りました。	地域高齢者へふくしプラザ利用を啓発する良いアピールとなりました。

高齢者悩みごと相談	毎週木曜日 午前10時～午後3時 (正午～午後1時の休憩時間は除く) 4月6日～3月29日までの実施 相談日数47日、相談件数80件 専門相談員3名により、高齢者悩みごと相談を実施しました。	高齢者には、特有の悩み事や不安と言った精神的な問題を抱えている人も多い。高齢社会を心豊かに過ごすための支援を目的に設置し、利用者に好評でした。
ふれあいサークル	毎週金曜日(第5週休み) 午後1時30分～3時30分 4月14日～3月23日までの実施 実施回数36回、参加者延べ388名 障害を持った参加者と家族を対象に マット体操やレクリエーションを実施しました。	病気やケガ、老化が原因の身体機能低下等により家庭に閉じこもりがちになる状態等を、家族を含めてレクリエーション等を通じて、交流をしながら社会参加への動機付けとして行ない、利用者には好評でした。
健康相談	毎月第2・4木曜日 午後1時30分～2時30分 4月13日～3月22日までの実施 実施回数21回、参加者延べ294名 医師(年5回)・栄養士(14回)・保健師・看護師により定期健康相談等を実施しました。	医師・保健師等により、健康相談及び血圧測定を実施。高齢者や障害者の健康増進に努めました。
生き生きセミナー	毎週水曜日 午前10時～正午 4月12日～2月21日までの実施 実施回数35回、参加者延べ595名 レクリエーション、軽スポーツ、体験型学習活動を実施しました。	脳卒中等後遺症を持つ障害者や家族を対象に、講師による講座などにより生涯学習を通しての生きがい作りの場を提供しました。
趣味の時間 「やまぶき」	毎月第1～4水曜日 午後1時～3時 4月5日～3月28日までの実施 実施回数42回、参加者延べ814名 俳句・絵手紙・書道を実施しました。	俳句や絵手紙、書道などの趣味の仲間が集まり、脳卒中等後遺症を持つ障害者を対象に障害者の自主的な趣味の活動の場を設け、利用者は皆積極的に活動しました。
リハビリ事業 (訓練室開放)	毎週月曜日・水曜日・金曜日 午後1時～4時 4月3日～3月30日までの実施 125回実施、参加者延べ433名 看護師によるリハビリ指導を実施しました。	病気やケガ、老化が原因の身体機能低下等により家庭に閉じこもりがちな状態な方と家族を対象に、社会参加の促進と機能訓練の充実を図りました。

第25回 ふくしプラザフェスティバル	9月7日(土)～9月11日(月) 高齢者・障害者(児)、ボランティア 等参加者延べ6,062名。スポーツ大 会(スマイルボウリング大会)サー クル作品展・人情芝居・舞踊ショ ー・無料鍼灸マッサージ他を実施し ました。	敬老の日を中心に高齢者・障 害者の日頃の活動成果を広く 市民に紹介。地域福祉の理解 を深め高齢者の軽スポーツを はじめ障害者活動を支援し心 身の健康維持を図りました。
第20回 はーとふるフェステ ィバル	12月2日(土)・3日(日) 高齢者・障害者(児)、ボランティア 等参加延べ6,061名。 障害者(児)作品展、障害者(児) 団体活動紹介、即売会、はーとふる コンサート、チャリティーバザー他 を実施しました。	障害者週間の趣旨にもとづき 「一緒に考え一緒に築こう、 伊勢崎の福祉」をテーマに障 害者(児)の社会参加の促進 と市民福祉の向上に努めまし た。
第14回 ふくしプラザ芸能発 表会	3月4日(日) 高齢者・障害者(児)、ボランティア 等参加者延べ2,404名。 カラオケ、フォークダンスやフラダ ンス、詩吟、各種演奏等発表会を実 施しました。	高齢者・障害者(児)等ふくし プラザ利用者や利用サークル が日頃の活動成果を発表する とともに、利用者相互の交流 が深められました。
高齢者健康講座 (社交ダンス)	前期講座5月8日～8月7日 午後1時30分～3時30分 実施回数12回参加者延べ452名 後期講座10月23日～2月26日 午後1時30分～3時30分 実施回数11回参加者延べ385名 合計参加者延べ837名 体力維持と健康増進を目的に社交ダ ンスを実施しました。	高齢者の健康増進並びに仲間 づくりの場となりました。

○実習生の受け入れ

伊勢崎敬愛看護学院

1月22日(月)～3月2日(金)23日間

実習受け入れ実数37名

(2) ふれあいセンター

高齢者の心身の健康の保持を図るとともに、市民の憩いの場を提供し、世代間の交流を促進するため、指定管理者制度によるふれあいセンターの管理・経営を行いました。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
計	61,903	2,075	24	64,002	820	1	821	64,823

- ・年間開所日数 288日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
七夕まつり	・7月5日(水)～20日(木) 七夕まつりを実施	利用者に折鶴や短冊、風船等を作成していただき、盛大な飾り付けができ利用者に喜ばれました。
地域社会貢献としての障害者施設の物品販売	・4月27日(木)、6月29日(木) 9月6日(水)、1月24日(水) 3月30日(金) 12時00分～12時30分 知的障害者通所授産施設 「とも伊勢崎」による物品販売	社会福祉協議会としても社会貢献できたうえ、利用者にも大変に喜ばれました。施設との信頼関係を築くことができ、地域福祉の繋がりができました。
心配ごと出張相談	・月の最終月曜日 13時00分～16時00分 「心配ごと相談」を実施しました	来客者のなかで心配を抱えた方が相談していました。出先で気軽に相談できたので良かった、と大変に好評でした。
ふれあいミニ図書コーナー	・本館談話コーナーに書棚を設置し、利用者が気軽に読書を楽しむようにしました。	様々な種類の本があることで、多くの利用者に利用していただくことができました。

(3) 老人いこいの家

地域の高齢者を対象に、入浴やレクリエーション等の場の提供と、教養の向上を図るための事業を実施するとともに、地域の関係団体の活動支援を通して高齢者の心身の健康の保持・増進を図りました。

I 年間入館者数

	入館者数(人)	備考
計	14,279	

- ・年間開所日数 297日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 利用状況

- ・地域の様々な支援団体が活動を行いました。

団体名	事業名	利用日・参加者数
赤堀福祉ボランティアの会	ゆうあい昼食会	10月16日(月) 月参加者61人
赤堀地区社会福祉協議会	戸外サービス	3月5日(月) 参加者90人
赤堀福祉ボランティアの会	ボランティアの集い	1月22日(月) 参加者106人
松葉会	総会打合せ	5月22日(月) 参加者13人 3月5日(月) 参加者12人

III 消防総合訓練

- ・利用者も参加して実施

実施日 6月14日(水) 参加者数 18人
12月13日(水) 参加者数 12人

(4) みやまセンター

みやまセンターは、地域に密着した老人福祉とデイサービスを提供する複合施設です。老人福祉施設では、男・女風呂をはじめ大会議室・教養娯楽室・相談室を有し、カラオケ設備も整っております。入館者には湯茶等の提供や仲間とのふれあい、レクリエーション等により高齢者の方々に明るく健康な日々を過ごしていただく「生きがいつくり」の施設です。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			合計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
計	46,446	880	49	47,375	264	2	266	47,641

- ・年間開所日数 292日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
さつき展	6月3日(土)～6月9日(金) 地元さつき愛好会によるさつき展を開催。樹齢数十年のさつき21鉢及び山野草等17鉢を7日間展示	入館者やデイサービス利用者が花の美しさを観賞し、同好会の方々ともふれあい、安らぎの時間を共有できました。
入館者感謝祭	10月21日(土) 入館者への日ごろの感謝とこれからの入館者の増加を目的に開催 (当日入館者数225人)	劇団「未来」出演による笑いと涙の人情芝居と華の舞踊ショーにより、入館者に楽しんでいただきました。
カラオケ発表会	11月18日(土) 参加者43人(抽選) 日頃の練習の成果を発表する目的で開催(当日入館者数204人)	順位をつけない方法により誰でも気軽に参加でき好評でした。また施設の利用促進にもつながりました。
消防訓練	・1回目 9月28日(木) ・2回目 3月8日(木) 入館者・デイサービス利用者・職員による総合訓練を消防署員指導により実施	緊急事態に対応するための通報・避難・消火等総合的な訓練を行うことにより実践体験ができました。 また、2回目は消防職員指導のもと、消火行動、通報、救護及び水消火器訓練を実施しました。

初湯祭り	1月5日(金) 新年を迎えての利用者サービスとして先着200人に抹茶・和菓子のプレゼントと劇団による人情芝居と舞踊ショー (当日入館者数243人)	正式なお茶の作法によるお茶会で、季節感を感じる行事となりました。また、劇団「未来」出演による笑いと涙の人情芝居と華の舞踊ショーで入館者の増加にもつながりました。
アンケート箱の設置	入館者に意見や要望等を徴集	入館者からの投書内容を把握し、実現可能な事項から順次実施し、入館者の希望・要望に反映しました。

(5) 高齢者生きがいセンター

高齢者生きがいセンターは、各福祉団体の活動の拠点となっています。

高齢化社会を迎えた現在、介護予防として高齢者団体・民生委員・ボランティア等各種団体と連携するサロンづくりや地域ネットワーク作りをしています。

特に介護予防のための高齢者のクラブ活動の推進や子育てサロンを通じて未来を担う子供たちの健全育成の場として、最大限に活用している施設です。

I 年間利用者数

利用回数	利用者数
183	4,472

- ・年間開所日数 292日
- ・開所時間 午前9時～午後9時

II 行事实施状況

生きがいセンターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。

- ・高齢者いきいき講座事業
- ・ボランティア活動事業(養成講座、ボランティアの会、傾聴ボランティアほか)
- ・子育てサロン事業
- ・心配ごと相談事業
- ・地区社会福祉協議会事業
- ・民生委員活動に関する事業
- ・老人クラブ連合会事業
- ・その他 各福祉団体の総会、役員会、会議など

○消防訓練：9月28日(木)・3月8日(木) 消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

(6) 境地域福祉センター

地域の福祉活動の拠点として、会議室等の貸出管理をはじめ、多くの関係団体との連携や住民の協力を得て様々な事業を展開し、高齢者及び障害者に対する各種サービスの提供や各種福祉団体の育成及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、福祉課題への対応、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図りました。

I 年間入館者数 (単位：人)

入館者別	利用団体数	利用人員	開所日数	夜間 開所日数	夜間 利用団体数	夜間 利用者数
合計	659	15,826	321	3	3	110

- ・開所日数 321日
- ・開所時間 午前9時～午後9時

II 事業実施状況

事業名	内容	効果
トレーニングルームの開放と大型レクリエーション用具の貸出	通年設置されたトレーニング器具の利用促進と使用方法の説明・指導。大型レクリエーション用具の貸出管理。	利用者の健康維持・増進に効果がありました。また、利用者同士の交流が深められ、仲間作りの場にもなっています。

(7) 境社会福祉センター

当館は、住民の福祉増進と文化の向上目的とし、主に高齢者を対象としたカラオケ設備を整えた共同入浴施設です。

年度事業では、菖蒲湯、柚子湯、ハーブ湯、カラオケ発表会、作品展示会を企画するとともに、年間を通じ玄関先を花で飾るなど季節感を取り入れ、利用者が楽しく気持ちよく利用できるよう心がけました。

I 年間入館者数 (単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
計	29,024	437	10	29,471	404	2	406	29,877

- ・年間開所日数 292日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
出張心配ごと相談	相談員による心配ごと相談	気楽に寄って相談できる場所として利用されました。
鯉のぼり設置	4月23日～5月5日	端午の節句にちなんで館内ロビーの壁沿いに、緋鯉、真鯉を飾り、その力強さが館内に活気をもたらしてくれました。
菖蒲湯 ハーブ湯 柚子湯	菖蒲湯 5月26日 ハーブ湯：6月26日 柚子湯：12月22日 1月7日	昔からのよき風習に浸るとともに季節感を味わってもらえました。
カラオケ発表会	カラオケ発表大会 8月25日 参加者58人 3月9日 参加者53人	利用者にとって日頃の練習成果を披露する絶好の場となり、喜ばれるとともに利用者相互の交流が深められました。
利用者の作品展示会	センター利用者が作成した作品を、廊下の壁面を利用、あるいはテーブルを配置して展示。 書道展 通年 写真展 通年 手芸作品展 通年 折り紙展 通年	趣味を生かした数多くの作品の展示ができ、来館者の関心を引くとともに出来栄の良さを大いに堪能してもらいました。
七夕飾り	飾り付けに工夫を凝らすとともに利用者が願いを記した短冊を結わい付け、玄関に飾りました。 7月2日～7月7日	短冊に利用者の思いを込めた願いを書いてもらうことにより、七夕の雰囲気味わってもらうとともに、利用者間の触れあいが図れました。
クリスマス飾り	舞台にクリスマスツリー等設置 12月1日～25日	舞台が普段より一段と華やかになり、カラオケを楽しむ利用者に張り合いのあるステージとなり、好評を得ました。

正月飾り	舞台に正月らしい飾り付けを設置しました。 1月5日～15日	正月らしい舞台転換を行い、利用者に好評を得ました。
雛飾り	ケース入りの三段飾りを、ロビーに展示しました。 2月1日～3月3日	来館者に女の子の健やかな成長を願う、桃の節句の雰囲気を楽しんでいただきました。
玄関を花で飾る	四季折々の花を玄関先に飾りました。	花に心を引かれる来館者の姿が見られました。

(8) 児童センター事業

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにするため、児童センターの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別	幼児	小学生		中学生	高校生	大人	合計
		1～3年	3～6年				
計	17,585	5,982	4,615	1,460	355	15,185	45,182

- ・年間開所日数 293日
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
人形劇	4月8日(土) 21人 職員による手作り人形劇の上演	「てぶくろを買いに」を上演しました。幼児から小学生、保護者まで楽しく観覧できる作品でした。
ビーズ工作	4月9日(日) 14人 9月30日(土) 12人 ビーズ工作	アイロンビーズでキーホルダーやブレスレットを作りました。各々オリジナルに溢れる作品が出来ました。

焼きまんじゅう	4月16日(日) 78人 11月26日(日) 90人 参加者が炭火でまんじゅうを焼いて試食しました	子どもたちがまんじゅうに串を刺し、炭火で焼く体験をしました。常連さんも多く、参加者からは「良い経験が出来た」や「おいしかった」などの感想が聞かれました。今年度より、子どものみの体験となりました。
こいのぼり工作	4月22日(土) 15人 4月23日(日) 13人 こいのぼりを作りました	折り紙をちぎって貼って飾り付けをして、回ったのしいこいのぼりを作りました。作った後、外で遊んでいる姿がみられました。
母の日のプレゼント作り	4月30日(日) 15人 マグネットを作りました	ビーズをふんだんに使ったマグネットを作りました。とても楽しそうに心をこめて作っている様子が見られました。
映画鑑賞会	5月 7日(日) 53人 8月12日(土) 24人 映画鑑賞会を実施	「となりのトトロ」「ムーミン谷の彗星」の映画を鑑賞しました。出入り自由の映画鑑賞で、気軽に観られました。
影絵	5月13日(土) 31人 7月30日(日) 55人 10月1日(土) 19人 3月11日(日) 23人 職員手作りの影絵を上演	5月は「おやゆびひめ」を、7月・10月・3月は「かさじぞう」のお話を上演しました。そのほか、歌の影絵も上演し大変好評でした。
陶芸教室	5月14日(日) 8人 6月11日(日) 6人 講師指導による粘土の成形	参加者が、皿やマグカップなど好きな作品を決めてから成形を行いました。難しい部分は、講師に指導を受けながら完成することができました。
デコ石鹸作り	5月21日(日) 11人 石鹸をデコレーション	デコパージュ液を使って石鹸をかわいくデコレーションして、簡易芳香剤を作りました。
〇×大会	5月27日(土) 14人 〇×大会をしました	友達同士で参加している子も多く、楽しく頑張っている姿が見られました。

棒焼きパン	5月28日(日)78人 10月8日(日)64人 竹にパン生地を巻き、炭火で焼いて試食しました	参加者がパン生地を炭火で焼くため、焼けていく過程を見ることができました。前年と同じく、いちごジャムのみにし、自分で焼いたパンの味を楽しんでもらいました。大きい紙コップに入れるようにしたのも、食べやすいと好評でした。
きらきらすくい	6月4日(日)61人 色々なスーパーボールをすくって遊びました	キラキラするスーパーボールすくいをしました。楽しそうにすくって遊んでいました。
父の日のプレゼント作り	6月10日(土)10人 6月18日(日)19人 似顔絵しおりを作りました	手作りの似顔絵入りのしおりを作りました。また、父親への感謝の気持ちをメッセージカードにこめました。
陶芸教室色付け	6月17日(土)8人 7月22日(土)6人 素焼きの作品に色付けを行いました	素焼きの終わった作った作品に各々好きな色をつけました。 個性豊かな作品が出来上がりました。
七夕工作	6月24日(土)15人 6月25日(日)13人 短冊と飾り付けをしました	多年齢の子が参加し、楽しく飾りを作っていました。
焼きとうもろこし	7月2日(日)57人 炭火で焼いて試食しました	参加者がとうもろこしの皮むきから炭火で焼くところまで行いました。焼き上がりを楽しみにしていました。
バルーンアート	7月9日(日)5人 10月28日(土)9人 専用の風船を使い、イヌなどを作りました	子どもでも簡単につくれるバルーンを作りました。 最初は怖がっていた子も作れるようになりました。
しゃぼん玉遊び	7月15日(土)20人 7月16日(日)17人 8月13日(日)23人 しゃぼん玉を作って遊びました	のりや洗剤などを使用した、しゃぼん玉液でしゃぼん玉遊びをしました。 大きなしゃぼん玉を作って楽しそうに遊んでいました。

的当て大会	7月23日(日) 18人 個人戦を行いました	低学年の部・高学年の部と分かれ行いました。どちらもとても盛り上がりました。
レクリエーション	7月29日(土) 11人 8月19日(土) 5人 12月24日(日) 30人 鬼遊びやターゲットプレイ、ビンゴなどをしました	幼児から参加でき、保護者も一緒に遊ぶことができました。
クラフトクラブ	8月5日(土) 10人 9月17日(日) 12人 11月12日(日) 13人 ぬりえは工作などをしました	ぬりえも工作も幼児を中心に楽しく参加していました。
プラバン作り	8月20日(日) 14人 2月3日(日) 12人 プラバンを使った工作をしました	オリジナルのプラバンキーホルダを作成して、満足そうに持ち帰っていました。
ミニスポーツ	8月26日(土) 19人 9月24日(日) 9人 オリエンテーリングや、ウルトラトレナー競争などをしました	オリエンテーリングや、ウルトラトレナー競争など、体を動かす遊びを、異学年の参加者と一緒に楽しくできました。
マンカラ大会	8月27日(日) 14人 部門別にわかれての大会	児童センターで人気がある遊びの大会で、多くの申込があり大変盛り上がりました。
体力測定	9月2日(土) 9人 平衡性、瞬発力、柔軟性などを測定しました	各々真剣に取り組んでいる姿が見られました。

紙粘土工作	9月3日(日) 15人 2月10日(土) 12人 メモスタンドやストラップを作りました	白い紙粘土にビーズをつけてメモスタンドや、ビーズとセロファンを作ってストラップを作りました。 個性的でかわいらしい作品が出来ました。
敬老の日プレゼント作り	9月9日(土) 13人 9月10日(日) 13人 コースターを作りました	祖父母への感謝の気持ちをこめて、コースターを作り、メッセージを書きました。
ハロウィン工作	10月21日(土) 10人 10月22日(日) 17人 ハロウィンの工作をしました	ハロウィンの壁掛け飾りを作りました。楽しそうにかわいらしい作品を作っていました。
輪投げ	10月29日(日) 11人 輪投げで遊びました	2チームに分かれ、チーム戦をして楽しめました。チームの仲間を応援して、とても盛り上がりました。
マジックショーと腹話術	11月4日(土) 55人 マジシャンによる実演を観覧しました	マジシャンと会場の子どものたちの声の掛け合いや子どもが参加する場面もあり大変盛り上がりました。
輪投げ大会	11月5日(日) 14人 輪投げ大会をしました	2部門に分かれ、行いました。お友達や参加している子をみんなで応援して、参加者同士交流も図れました。
人形劇	11月18日(日) 55人 劇団にんぎょう畑公演	「たのきゅう」を上演しました。とても楽しそうに最後まで集中して観劇することが出来ました。
人形劇	11月19日(日) 26人 母親クラブ人形劇部公演	「にんじんとだいこんとごぼう」を上演しました。幼児から小学生、保護者まで楽しく鑑賞できました。
羊毛工作	11月25日(土) 11人 羊毛を使ったキーホルダーを作りました	型を使って作りました。可愛らしい作品が出来上がり、大事そうに持ち帰っていました。

もちつき体験	12月3日(日) 110人 もちつき体験後、試食しました	参加者はもちつきを見学後、もちつきを体験しました。初めて体験する参加者も楽しく参加できました。
クリスマス工作	12月9日(土) 13人 12月10日(日) 18人 クリスマスの工作をしました	テーブルオブジェを作りました。個性溢れる作品に仕上がり、手作りの飾りを手に嬉しそうに持ち帰っていました。
お正月工作	12月16日(土) 10人 12月17日(日) 14人 お正月飾りを作りました	豪華なお正月飾りを作りました。各々個性のあるものが出来ました。
お正月遊び	1月6日(土) 25人 1月7日(日) 40人 コマや双六などで遊びました	コマや羽根つきはとても人気があり、家族や友達と大変盛り上がっていました。
凧作り	1月14日(日) 14人 エアパッキンで凧を作りました	個性的でカラフルな凧に仕上がりました。出来上がった凧を、参加者全員で飛ばして遊ぶことができました。
上毛かるた大会	1月21日(日) 14人 部門別にわかれての大会	学校や地域で取り組んでいるところも多く、当日参加も多かったです。
節分工作	1月27日(土) 2人 1月28日(日) 5人 鬼の豆入れを作りました	豆まきにつかう、かわいい鬼の豆入れを作りました。かわいらしい作品がたくさん出来ました。
ひな祭り工作	2月24日(土) 13人 2月25日(日) 13人 おひな様の工作をしました	お雛様を作りました。花紙をつかった可愛らしい飾り付けで華やかなお雛様が出来ました。
ビデオ鑑賞会	3月3日(土) 28人 ビデオ鑑賞会を行いました	昔懐かしい作品を鑑賞しました。親子共々真剣に見ている姿が見られました。

ドレミタイム	毎週金曜日 998人 幼児と保護者対象のリズム遊び、ふれあい遊びなどを実施しました	親子で楽しく体を動かすことが出来ました。また、参加者同士で交流を図ることが出来ました。
子育て支援	毎月第2水曜日 134人（4・7・8・2月は除く）ベビーマッサージや幼児安全法講習会などを実施しました	季節によって人数の多少の増減はありましたが、ベビーマッサージは人気がありました。幼児安全法講習会では、日赤の講師の方より、ケガや誤飲等の対処法を学ぶことが出来ました。
読み聞かせ	毎月1回実施 267人（8・9月は除く）ボランティア団体と職員による読み聞かせ	読み聞かせボランティアと職員による読み聞かせをしました。パネルシアターやエプロンシアターもあり、楽しく観ることができました。
伝承遊び	7月 1日（土） 8人 8月 6日（日） 6人 9月16日（土） 12人 3月 4日（日） 5人 民話の読み聞かせや折り紙、お手玉などを行いました	新しく、民話や伝承などの読み聞かせを取り入れたり、切り紙をしたり、折り紙の絵葉書を作りました。子どもだけではなく、保護者も一緒になって遊ぶことが出来ました。
おもちゃの病院	偶数月第2土曜日 56件 いせさき茂呂おもちゃの病院によるおもちゃ修理	修理で直るおもちゃが多いため、何度も利用してくれる方も多かったです。
親子クラブ	毎週月曜日 25組 2歳以上の幼児と母親を対象に一年間活動を行いました	運動会、クリスマス会など季節の事業や遠足（境児童センター、華蔵寺遊園地）などを通して、子どもの成長を感じました。

○実習生の受け入れ

- ・新島学園短期大学コミュニティ子ども学科 2年 1名
平成29年10月30日～11月17日 13日間
- ・第一中学校チャレンジウィーク 2名
平成29年9月1日（金）

(9) 境児童センター

「子どもたち」やその子どもを育てる親、そして、親子を見守る地域を視野に入れ、児童に健全な遊びの場を提供し、豊かな心を育てる場所となり、児童福祉の推進の強化と子育て支援活動の充実・利用者の利便性の向上と地域拠点施設として適正な事業を図りました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別	幼児	小学生		中学生	高校生	大人	合計
		1～3年	4～6年				
計	4,497	2,569	2,168	910	90	5,530	15,764

- ・年間開所日数 293日
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時

II 行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
ぬりえ大会	3月25日(土)～4月6日(木) 参加者55人 春休みぬりえ大会 7月19日(水)～7月31日(月) 参加者55人 夏休みぬりえ大会	春・夏あわせて、延べ100人をこえる子ども達が参加してくれました。子ども達は、入賞を目指し個性あふれる作品に仕上げました。
観劇会	4月8日(土) 参加者42人 劇団風の子による公演	子ども達が参加出来る場面もあり、最後まで楽しく観ることができました。
こどもの日スペシャル	5月5日(金) 参加者22人 マイ下敷き作り	記念に残るように手形を押した下敷きを作りました。幼児から中学生まで幅広い参加がありました。
母の日プレゼント作り	5月7日(日) 参加者23人 プラ板キーホルダーを作り	母親への感謝の気持ちを込めて、ひとつひとつ丁寧に作ることができました。
わくわくクッキング	5月28日(日) 参加者14人 アイス作り 11月25日(土) 参加者11人 スイートポテトアニマル作り 2月4日(日) 参加者13人 チョコブラウニー作り	男の子の参加者も多く、友達と一緒に作り、一緒に食べて、楽しい時間を過ごすことができました。

リサイクル工作	7月22日(土) 参加者11人 9月2日(土) 参加者19人 10月1日(日) 参加者6人 廃材を使ったおもちゃを作り	食品トレーやペットボトルのふたなどを使いました。廃材になってしまいう物でも、工夫すれば楽しく遊べるおもちゃを作れることを学ぶことができました。
集団遊び	4月1日(土) 参加者7人 6月17日(土) 参加者6人 7月16日(日) 参加者6人 1月14日(日) 参加者5人 集団遊び	友達や家族のほか、異年齢の子どもと遊ぶことができました。また、遊びを通して、交流が深まりました。
世代間交流会	9月9日(土) 参加者9人 工作と遊びを通じた交流、 1月27日(土) 参加者8人 わなげ遊び	境地区老人クラブの方々と工作や遊び、歓談を通して、交流を図ることができました。
父の日プレゼント作り	6月18日(日) 参加者20人 バスボム作り	父親への感謝の気持ちを込めて、ひとつひとつ丁寧に作ることができました。
どうぶつ将棋大会 テーブルホッケー大会 マンカラ大会 紙ヒコーキとばし大会 スーパーバトル大会 わなげ大会 大声大会 豆つかみ大会 ジャンケン大会	5月20日(土) 参加者11人 6月10日(土) 参加者13人 7月15日(土) 参加者8人 9月10日(日) 参加者7人 10月7日(土) 参加者5人 11月11日(土) 参加者8人 1月6日(土) 参加者6人 2月3日(土) 参加者4人 3月17日(土) 参加者10人	小学生向きの大会から幼児も参加出来る大会などを開催しました。参加者は、入賞を目指し一生懸命参加していました。 紙ヒコーキとばし大会、ジャンケン大会には、幼児も多く参加し、小学生にも勝ち入賞を果たす子もいました。
ベビーマッサージ	6月15日(木) 参加者5組 9月28日(木) 参加者10組 3月1日(木) 参加者2組 ベビーマッサージ	講師指導によるベビーマッサージを開催しました。ベビーマッサージを通して、赤ちゃんと母親の愛着を深めることができました。
流しそうめん	7月8日(土) 参加者20人 流しそうめん	流しそうめん初体験の子も多く参加し、楽しんでいました。
折り染めをしよう	5月21日(日) 参加者17人 和紙を染め粉で綺麗な柄に染めて楽しむ。	染め粉を付ける場所により、様々な柄があらわれるので、個性あふれる作品に仕上がりました。

境児童センターまつり	11月4日(土)参加者320人 センターまつり。	新企画のヨーヨー釣りには、多くの子ども達が並び、大盛況でした。民生児童委員や母親クラブ、学生ボランティア、一般ボランティアの方々の協力もあり、子ども達も楽しく参加できたようでした。
クリスマス会	12月2日(土)参加者51人 クリスマス会。	手品や足芸を見て、子ども達は大笑いし、サンタクロースからはプレゼントをもらい嬉しそうでした。
消防訓練	10月25日(水)参加者17人 境消防署指導の下、総合訓練を行った。	親子クラブ実施中の火災を想定し行いました。親子で落ち着いて避難することができました。消火訓練も行い、有意義な体験となりました。
不審者対応訓練	1月19日(金) 伊勢崎警察署スクールサポーター指導の下、職員向け研修を行った	不審者対応訓練は、講師の方からの講話による事例等と実践的な対応を学ぶことができました。
親子クラブ	毎週水曜日 参加者10組 親子で楽しめる活動を提供した	季節の行事や工作、ふれあい遊びなどを通して、子ども達の成長を感じることができました。
まめっこ広場	5月11日(木)参加者11組 風船遊び 6月8日(木)参加者16組 ふれあい遊び 7月13日(木)参加者10組 水遊び 9月14日(木)参加者9組 おもちゃ作り 10月12日(木)参加者13組 まめっこ運動会 11月9日(木)参加者13組 リズム遊び 1月18日(木)参加者15組 ダンボール遊び 3月8日(木)参加者11組 手形をとろう	参加した子どもの年齢は5ヶ月～2歳頃までと年齢・月齢差がありました。年齢・月齢差があるので、子どもができること、できないことの差がありましたが、母親と楽しそうに参加していました。母親も他の参加者と交流を深めることができました。
おはなし会	毎月第3土曜日参加者69人 おはなしの風 毎月第3水曜日参加者41人 にじの会	おはなしの風は幼児から小学生、にじの会は幼児向けの読み聞かせを行い、絵本に触れ合う大切な機会となりました。
児童家庭相談	毎月第4水曜日	市から専門の相談員が来館し、相談室を設けました。

(10) 赤堀児童館事業

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援と「放課後児童クラブ」の管理運営を行っています。また、一般の人々を対象にした「わくわくサタデー」・工作教室などの文化体験事業や「赤堀地区児童館まつり」を行い、地域に根を下ろした児童館活動を実施しました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	3,018	25,046	702	442	291	7	3,723	33,230

- ・年間開所日数 295日
- ・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分～午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後～午後7時
(学校休業日については午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
あそびの教室 毎月第2・4水曜日	5月24日～年間15回実施 「ミッキーのお面を付けリレー」 他 延べ参加者：675人 (幼児と保護者)	子ども同士の友達作りや保護者同士の情報交換の場を提供することができました。また、季節の行事に応じた制作や遊びを行い、親子共に楽しむことができました。
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月15日～年間12回実施 「オリジナルエコバックの作成」他 延べ参加者309人(一般)	幼児から大人までを対象として、物作りをしたり、作ったものを食べたり、音楽を鑑賞したり、その他いろいろな体験をしながら、楽しい時間が過ごせました。
おはなしニコニコ 毎週金曜日	4月21日(金)～年間37回実施 サリーちゃん・パネルシアター・読み聞かせ他 延べ参加者：872人	乳幼児とその保護者を対象として親子で楽しめるものを提供した結果、日常的に児童館を利用するきっかけとなりました。
放課後児童クラブ 行事 ・月1回誕生会 ・月1～2回の遊び	4月10日～年間38回実施 お花見ランチ・宝さがし遊び 延べ参加者：3,817人	放課後クラブのメンバーが、ゲームや工作、運動やなわとびなどして放課後を楽しく過ごすことができました。 月1～2回の遊びに、一般児童も参加して一緒に楽しむことができました。
・季節毎の壁面作り	季節の壁面作り 年間9回実施 延べ参加者：516人	

読み聞かせ 毎月第2・4木曜日	4月13日～年間10回実施 絵本の読み聞かせ他 延べ参加者：200人	放課後15：30～小学生を対象に 読み聞かせ等を行い、子どもたちが本 に親しむきっかけとなりました。
赤堀地区児童館ま つり 年1回	10月29日（日） 沢入国際サーカスによるショー や子供の遊びを中心にまつりを 開催 参加者：197人	赤堀地区の児童館3館と、老人クラブ・ 民生委員他ボランティアの協力で、地 域の人たちがたくさん参加し楽しめま した。 開催当日は雨でしたが、地域の皆さん に大勢参加していただきました。
ベビーマッサージ 教室（3水曜日） 4月～11月 （7・8月は除く）	4月20日（水）～年間6実施 延べ参加者：86人	乳児を対象にベビーマッサージを行い 親子のコミュニケーションを深めまし た。又参加した母親同士が親しくなる きっかけとなりました。
赤堀地区文化祭 参加	11月4日（土）11月5日 （日） 児童館紹介パネルと作品の展示。 参加者 人数のカウントできず	子育て支援事業や放課後児童クラブの 子ども達の生活の様子をパネルと作品 で紹介しました。
不審者対応訓練 年1回 総合避難訓練 年4回（内消防署立 会1回）	・7月21日（金） 不審者対応訓練 参加者：103人（児童・職員） ・年3回自主避難訓練（火災・地 震） 延べ参加者300人 ・12月4日（月）消防立会総合 避難訓練 参加者：123人	各種訓練を行うことにより、それぞれ に応じた避難方法が職員・児童共に 体験することができました。

(11) 赤堀南児童館

未就学児とその保護者が対象の子育て支援事業と小学校の児童が対象の放課後児童クラブ事業を行いました。また、学校や地域の人々と連携を図り、地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小 学 校			中学生	高校生	大人	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
利用者数	2,334	19,435	295	248	25	1	2,953	25,291

・年間開所日数 294日

・開所時間 午前9時30分～午後7時

(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容	効 果
あそびの教室 毎月第2・4火曜日	5月23日(火)～年間15回実施 七夕飾り作り他 延べ参加者524人	親子で触れ合いながら遊び方や関わり方を覚えるとともに、保護者同士の情報交換や子育ての相談に応じられました。
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月22日(土)～年間12回実施 プラ板作り他 延べ参加者217人	普段児童館に遊びに来られない子供や大人にも児童館に関心を持ってもらうことができました。
赤ちゃんいらっし ゃい! 毎月第1・3木曜日	4月20日(木)～年間22回実施 わらべ唄あそび、ベビーダンス他 延べ参加者455人	乳幼児とその保護者を対象に読み聞かせやわらべ唄、スキンシップ等を楽しみました。
放課後児童クラブ 行事 月1回 誕生会 月1～3回 遊び行事 あそびの月間	4月10日(月)～年間32回実施 はじめましての会他 延べ参加者2,306人 あそびの月間 10回 延べ参加者2,468人	放課後児童クラブの子ども達を対象にお誕生会や工作、伝承遊び等遊びの経験を通し、児童クラブとしての集団力が身についてきました。また、月間を通して頑張ることができました。
おはなしタイム 毎週土曜日	4月1日(土)～年間46回実施 なぞなぞ、紙芝居、絵本、他 延べ参加者457人	毎週土曜日に小学生を対象に読み聞かせを行いました。だんだん集中しておはなしを楽しめるようになりました。
赤堀地区児童館 まつり 年1回	10月29日(日) サーカス学校パフォーマンスショー 巨大コリントゲーム他 参加者197人	赤堀地区児童館3館と老人会、民生委員やボランティア等の協力で地域の人たちがたくさん参加し、楽しめました。
赤堀地区文化祭 参加	11月3日(土)11月4日(日) 児童館紹介パネルと作品の展示	子育て支援事業や放課後児童クラブの子どもたちの生活の様子をパネルと作品で紹介しました。

消防等避難訓練 年3回	5月17日(水) 避難訓練 [地震から火災] 6月29日(木) 防犯訓練 [不審者] 10月16日(月) 総合訓練 [地震から火災]	地域や学校と連携を取り協力体制づくりを進めながら、各種訓練を行いました。 災害に応じた避難方法を職員児童共に体験することができました。
将棋教室 毎週木曜日	4月20日(木)～年間33回実施 本将棋、はさみ将棋、まわり将棋等 延べ参加者373人	子ども達に落ち着いた態度や集中力が身に付くよう、地域のボランティアの方に将棋の遊び方や指し方を指導していただきました。

(12) 赤堀あさひ児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援事業と「放課後児童クラブ」の管理運営事業を行なっています。また、一般の人々を対象にした遊びの紹介や工作教室などの文化体験事業、「赤堀地区児童館まつり」を行なうなど、地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	1,367	13,800	314	499	117	13	1,651	17,761

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分～午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後～午後7時
(学校休業日については午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
あそびの教室 毎月第1・3水曜日	4月26日(水)～年間13回 ベビーダンス 他 延べ参加者 380人	子ども同士の友達作りや保護者同士の情報交換の場を提供することができました。また、季節の行事に応じた制作や遊びを行い、親子ともに楽しむことができました。
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月15日(土)～年間11回 バルーンアート 他 延べ参加者 120人	幼児から大人までを対象として、物作りや体を動かす等の体験をしながら楽しい時間を過ごすことができました。

<p>ぴこぴこルーム 毎週 月曜日</p>	<p>4月17日(月)～年間35回 手遊び・絵本・紙芝居の読み聞かせ 延べ参加者 360人</p>	<p>乳幼児とその保護者を対象として、読み聞かせ等を提供し、親子ともに楽しむことができました。</p>
<p>ぴこぴこたいそう 毎週 木曜日</p>	<p>4月13日(木)～年間36回 ふれあい遊びや体操をする 延べ参加者 479人</p>	<p>乳幼児とその保護者を対象として、ふれあい遊び等を提供し、親子で楽しくふれあう時間を作ることができました。</p>
<p>子育て支援 ぺったんてがた</p>	<p>4月21日(金)～年4回 延べ参加者 195人</p>	<p>成長の記念に台紙に手がた等を取り、参加者同士で交流もできました。</p>
<p>放課後児童クラブ行事 月1回 誕生会 年5回 サッカー 月2回 製作・あそび 他</p>	<p>4月6日(木)～年間49回 青空ランチ! 他 延べ参加者 2,444人</p>	<p>放課後クラブの児童等が、ゲームや工作、ボランティアによるサッカー指導、レクリエーションなどを通して、楽しく過ごすことができました。</p>
<p>放課後児童読み聞かせ(おはなしパーク) 毎月第2・4金曜日</p>	<p>4月28日(金)～年間18回 絵本の読み聞かせ・紙芝居 延べ参加者 577人</p>	<p>小学生や館内の幼児を対象に絵本や紙芝居などでお話に親しむことができました。</p>
<p>赤堀地区児童館 まつり 年1回</p>	<p>10月29日(日) 沢入国際サーカス学校のパフォーマンスショー他 参加者 197人</p>	<p>赤堀地区3児童館で、民生・児童委員、東京福祉大学学生ボランティアの協力により開催し、たくさん子どもたちが参加し楽しみました。</p>
<p>赤堀地区文化祭参加</p>	<p>11月4日(土)・5日(日) 児童館紹介パネルと作品の展示 参加者: 69人</p>	<p>児童館の子育て支援事業や放課後児童クラブの子どもたちの生活の様子をパネルと作品で紹介しました。</p>
<p>火災・地震・不審者 等避難訓練 年3回</p>	<p>5月10日(水) 地震避難訓練 地震ビデオ、避難訓練参加者58人 7月26日(水) 不審者侵入・防犯訓練 参加者57人 11月29日(水) 総合消防訓練 参加者61人</p>	<p>各種訓練を行うことにより、それぞれに応じた避難方法を職員・児童ともに体験することができました。</p>

(13) きく児童館

児童・生徒に健全な遊びの場を提供することにより、子供たちの健康を増進し、情操を豊かにする。また、子育て支援の拠点となる場を提供するとともに、放課後児童クラブの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	765	16,326	310	575	73	7	814	18,870

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 午前9時30分～午後7時(学校休業日は午前8時～午後7時)
(放課後児童健全育成事業以外の事業に係る利用時間は午後6時まで)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
あそびっ子 プラバンでキーホルダーを作ろう。	4月10日(月) プラバンに好みの絵を書き自分だけのキーホルダーを作り、工作の楽しさを味わう。 参加者 67人	透明なプラスチック板にマッキーペンで絵を描き、電気オーブンで焼くと小さく固まり、そこに穴を開けひもを通すと自分だけのキーホルダーが完成する。 一貫した制作工程の中で、物を作る喜びを味わいました。
子供の日 特別行事 親子でチョコバナナを作ろう。	5月5日(金) バナナ半分に割り箸を刺し湯煎したチョコをつけて楽しむ。 参加者 18人	親子で協力して、バナナの皮をむき、割り箸を刺す、湯煎したチョコにつける一連の流れを通し、親子のコミュニケーションを図り、作った物を一緒に食べる楽しさを味わいました。
わいわいクラブ 親子でお好み焼き作り	5月20日(土) 様々な材料でお好み焼きを楽しむ。 参加者 14人	親子で作り方を教わりながら、生地からお好み焼きを作り楽しみました。 又、いろいろな具材を用意して、味比べもしました。おいしそうに焼けたときは、とてもうれしそうでした。
まめっこクラブ きしゃぽっぴ スペシャル	5月29日(月) 幼児と保護者を対象にリズム遊びを楽しむ。 参加者 14人	藤巻千賀子先生を講師に招き、歌や手遊び、リズム遊び、絵本の読み聞かせなどいつもと違った動きを体験し、親子で楽しく過ごしました。

まめっこクラブ 運動会	6月12日(月) 幼児と保護者を対象にミニ 運動会を開催 参加者 22人	かけっこ・玉入れ・障害物競走など簡 単な競技を親子で楽しみました。かわ い笑顔いっぱいの運動会でした。
児童クラブ行事 運動会	6月12日(月) 児童クラブの子ども達と職 員による運動会を開催 参加者 74人	ボール運びリレー、障害物競走などの 競技を楽しみました。小麦粉の中のマ シュマロ食い等の障害物競技では、職 員も参加し、奮戦しました。子供たち は大声で応援したり、負けて泣き顔の 子どももいたり、大変な盛り上がりで した。
あそびっこ 七夕まつり	7月7日(金) 遊戯室に7メートルを超え る笹飾りを作り、その下で 歌・クイズ・職員による寸 劇を楽しむ。 参加者 78人	職員が、神様・ひこ星・織姫・牛等に 扮し、七夕の由来を寸劇にして披露し ました。子供たちは笑顔で七夕の行事 を楽しんでいました。
わいわいクラブ スイカ割り大会	7月26日(水) 夏の風物詩であるスイカ割 りを皆で楽しむ。 参加者 68人	夏の定番であるスイカ割りを遊戯室の 床にシートを敷き行いました。目隠し した友達を大声でスイカまで誘導し、 うまく割れると大喜びで暑い夏の日を 楽しみました。
移動館カプラ	9月15日(金) 子供たちの共同作業で、カプ ラを自由に積み上げて、様々 な作品を作り上げる。 参加者 68人	「ぐんまこどもの国」のスタッフ2名来 館して、カプラを積んだ様々な作品を 作り上げていく作業を指導していただき ました。根気のいる作業ですが、子供た ちは、共同して作り上げた作品を楽しん でいました。
クリスマス会	12月3日(土) クリスマス会を開催する。 ハンドベル演奏などでクリ スマスの雰囲気を楽しむ。 参加者 72人	四季の神々のセレモニーとハンドベル によるクリスマスソングを奏でた後、ゲ ストの「ヨロコンデぶっちゃん」による お笑い演奏会に子ども達も大爆笑。最後 に手作りのクリスマスプレゼントを配 り大喜びにて終了しました。
豆まき大会	2月2日(金) 職員が手作りの衣装で鬼に 扮し、子供たちが落花生をぶ つけ鬼退治する。 参加者 50人	季節の行事である節分の豆まきを、職員 が鬼に扮し、子供たちが豆の代わりに落 花生をぶつけ鬼退治する。職員にとって は痛い行事ですが、子供たちはキャーキ ャー言いながら、楽しんでいました。

まめっこクラブ リトミック	2月5日(金) 幼児と保護者を対象に、リズムに合わせ身体を動かし楽しむ。参加者 37人	親子で触れ合いながらリズム体操を楽しんでいました。 休憩中は、子供たちを遊ばせながらお母さん同士のゆったりした交流が図れました。
------------------	--	---

以上の行事の他に児童館行事として、毎週月曜日「おはなしきしゃぽっぽ」、毎週水曜日「おはなしの部屋」、また、児童クラブ行事として、「餅つき会」「あやとり・こま検定」「なわとび記録会」「上毛カルタ大会」「おつかレー会」などを実施しました。

(14) さざんか児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、児童館の管理運営を行いました。放課後児童クラブ及び育児サークルの活動の支援を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	大人	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	1,030	18,079	416	466	47	3	1,237	21,278

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 午前9時30分～午後7時(学校休業日は午前8時～午後7時)
(放課後児童健全育成事業以外の事業に係る利用時間は午後6時まで)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した主な行事内容は、次のとおりです。

行事名	内容	効果
よもぎだんご作り	4月22日(土) よもぎだんごの作り方を学びました。 参加者 23人	よもぎだんごができるまでの手順を知ることができました。また、きな粉やあんこをつけて、おいしく食べられました。
どろだんご週間表彰式	4月19日(水) 4月26日(水) 4月19日から一週間どろだんご週間とし、表彰式を行いました。 参加者 86人	通常の賞に加え、「頑張ったで賞」等の各種特別賞を設けて、多くの子どもたちのやる気を引き出すことができました。
楽しい運動会	6月24日(土) 障害物競走、玉入れ等を行いました。 参加者 34人	梅雨期に屋内で運動会を行うことにより、屋内でも楽しく過ごせることを子どもたちにわかってもらえました。

マンカラ大会	9月28日(木) マンカラのゲーム大会を行い、向上心を養いました。 参加者 78人	参加者を4チームに分け、トーナメント方式で勝ち進んでいきます。普段は対戦しない学年、異性と組んで行いました。
流しそうめん	7月15日(土) 流しそうめん 参加者 80人	親子仲良く箸を使って、親子の交流と児童館と地域との交流が図られ、関係が深まりました。
水鉄砲大会	7月25日(火) 4チームに分かれ、トーナメント形式で競いました。 参加者 78人	天気に恵まれた中、水鉄砲の打ち合いで走り回り、楽しそうでした。
クリスマス会	12月9日(土) 育英短大によるヘルマンハーブの演奏と子ども達による四季の神々のともし火を行いました。 参加者 97人	幼児から児童の保護者やおばあちゃんまで、幅広い年齢層の方々に参加いただき楽しいひと時を過ごせました。
おはなしゆりかご	12月14日(木) 歌、手あそび、絵本読み聞かせ、職員の出し物 参加者 59人	通常のゆりかご活動に加え、職員のハンドベル演奏やキャラクターショー、サンタクロースの登場などで、クリスマス気分を味わいました。
あそびの検定表彰式	2月5日(月)～10日(土) 一年間の集大成として検定をし、表彰を行いました。 参加者 88人	けん玉、まりつき、フラフープ、なわとび、あやとり等11種目も級認定を行い、子ども達に色々な事にチャレンジする機会を設けながら競わせ、意欲を養わせました。
ゆりかごスペシャル	3月15日(木) 通常のおはなしゆりかごに加え、こどもの国の移動児童館の職員のパネルシアター等も行いました。 参加者 42人	児童館の職員とこどもの国の職員とで事業を行いました。最終回のおはなしゆりかごとして、お母さん方、幼児ともに盛り上がっていました。

以上の行事の他に「けん玉道場」「プラバンホルダーづくり」「お店屋さんごっこ」「キッズエアロビ」「味噌づくり」「羊毛ツンツン」などを実施しました。

(15) あやめ児童館事業

児童に健全な遊びの場を提供し、児童の健康増進と情操を豊かにすることや、幼児を持つ母親たちの情報交流等の場としての充実を図るなど、子育て支援を実施し、また、放課後児童クラブの運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	1,473	13,503	772	1,161	255	197	1,471	18,832

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 午前9時30分～午後7時(学校休業日は午前8時～午後7時)
(放課後児童健全育成事業以外の事業に係る利用時間は午後6時まで)

II 行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した主な行事内容は次のとおりです。

行事名	内容	効果
焼きまんじゅうを作って食べよう	4月22日(土) 素まんじゅうを自分で串に刺し、炭火で焼き、自分で火加減や火傷に注意をして調理する事を体験する。 参加者20名	郷土の味として、普段から食べている「焼きまんじゅう」だが、自分で串に刺したり、焼いたりするのは初めての子がほとんどだった。順番を守り、こんがり焼いた焼きまんじゅうは、とても美味しかったことと、調理する達成感も味わうことができました。
子供の日(くるくるこいのぼり作り)	5月5日(金) カラーワイヤーをらせん状にクルクル回りながら降りてくる、こいのぼりを作る。 参加者17名	ゴールデンウィークの狭間だったが、楽しみにしていた子供が、たくさんいました。飾ってかわいいので、お母さん達にも好評でした。こいのぼりを作りながら、友達の作品に感化され交流、集中、工夫する力を培いました。
キッズエアロビ	5月25日(木) 講師に依頼し、キッズエアロビを楽しむ。 参加者60名	曲に合わせて、楽しみながら踊る有酸素運動でリズム感を育て、心身ともに健康的な時間を過ごすことができました。
あそび検定	6月19日(月) なかとび(時間飛び、二重回しとび)、けん玉、あやとり、まりつき、一輪車の技を難易度により級を設け、検定を行う。 参加者48名	普段あまり興味を示さない遊びにも興味を持ち、次の級を目指して頑張る姿勢がたくさん見られました。一年生は、力及ばずなかなか級をとれないけれど次回の成長が楽しみです。

あやめ納涼祭	7月28日(金) あずま中ボランティア部の協力の下、あやめの夏祭りを開催した。 参加者105名	お化け屋敷や工作(三菱UFO)、三種のゲーム(ゴキブリハンター、缶積み、千本引き)では、各コーナーでミッション、ルール、景品を決めたところ、子供たちもよく取り組んでくれました。又、かき氷、ヨーヨー釣り、茶屋なども楽しそうでした。
カレーパーティ	8月18日(金) 野菜の皮をむいたり、切ったり、料理を作る楽しさを知る。 参加者57名	ピーラーや包丁の取り扱いに注意しながら自分達で作ったカレーは、達成感もあり、より一層おいしく食べられたようでした。
流しそうめん	8月26日(土) 流しそうめんを経験する。 参加者46名	日頃なかなか経験できない、流しそうめんを楽しみました。普通は流れないチョコやチーズも流れ、子供たちは大喜び。楽しい体験を通じて親子の交流を深める事ができました。
手形の花壁	9月1日(金) 手形をとり、コスモスの花をトンボの羽にして、秋の花畑の壁面を作る。 参加者67名	子供たちも作業を手伝い、全員分の手形があることで「私の手形はここ」と喜ぶ姿が見られました。
移動児童館	10月17日(火) ぐんまこどもの国 移動児童館にお願いし、空気砲の制作と実験をする。 参加者58名	実際に見るのは、初めてという子が多く、煙の流れに大歓声があがっていました。一年生でも簡単に制作できるものだったので、遊び時間が多く取れました。みんな真剣に制作したり、的にあてたり取り組んでいました。
火災避難訓練	11月9日(木) 東消防署の指導のもと、火災避難訓練を行う。 参加者51名	宿題をしたり、外で遊んでいる時間に訓練を行い、避難通路と避難時に注意することを確認できました。
クリスマス会	12月9日(土) 人形劇団ポップコーン「カチカチ山」と放課後児童クラブの三年生の出し物を観劇する。 参加者124名	人形劇を見ることで、演じ手の動きや迫力をたっぷり味わうことができました。また、会場が一体となって盛り上がり、最後はサンタさんからのプレゼントをもらい楽しい時間が過ごせました。三年生も練習の成果を発揮できました。形劇

チアダンス	2月1日(木) キッズ・チアダンス・インストラクターの赤石成美さんを講師に招き、チアダンスの体験をする。 参加者51名	初めての試みでしたが、馴染のある曲と初心者むけの動きに加え、講師の持参したポンポンが気分を盛り上げ、楽しく踊ることができました。 一般参加者も一緒に体験し、行事の副題のように心も身体もポカポカになったよい時間でした。
さくらもち作り	3月3日(土) 春の和菓子作りに挑戦する。ホットプレートを使いさくらもちを手作りし、みんなで食べる。 参加者16名	グループごとに協力して、生地を混ぜ合わせ、ホットプレートで焼くまで順序よく取り組むことができました。又、手作りの喜びを感じながら、美味しくさくらもちを食べることができました。

以上の行事の他に「ネイチャーゲーム」「チャレンジ空手」「しめ縄作り」「みんなでワイワイ」などを実施しました。

2. いせさき絆コンサートの開催

地域で共に助け合い支え合う絆づくりを推進するため、高齢者入浴施設を活用したコンサートを開催し、市民の交流機会創出を図りました。

I 事業実施状況

施設名・開催日	実施状況・出演者
ふくしプラザ 毎月第1日曜日	4月 2日 アンサンブル・バジ 5月 7日 登三善会 6月 4日 レクダンスみさと 7月 2日 アコ・サークルこだま 8月 6日 ザ・プルメリア 10月 1日 あすなるハーモニカ 11月 5日 うさぎ会(舞踊) 2月 4日 すみれ会(日舞)
ふれあいセンター 毎月第2日曜日	5月 14日 サウスウインズ 6月 11日 うえはすハーモニカクラブ 7月 9日 伊勢崎マジシャンクラブ(手品) 11月 12日 鶴見昌弘(アコーディオン演奏) 2月 11日 ポップス尺八クラブ
境社会福祉センター 毎月第3日曜日	4月 16日 フラナニ プアリリレフア 7月 16日 SFC(むのーやくバンド) 8月 20日 鶴見昌弘(アコーディオン演奏) 11月 19日 昭和歌謡バンド音楽仲間 2月 18日 うねめ民謡研(和太鼓・舞踊)

老人いこいの家 毎月第4日曜日	4月 23日	トンボの会
	5月 28日	市場町一丁目友愛クラブ
	6月 25日	レクダンスみさと
	7月 23日	ポロオカリナ・ハーモニカ ジョイント
	8月 27日	ポップス尺八クラブ
	9月 24日	腹話術・深町手品・ジョイント
	10月 22日	いち凧(オカリナ演奏)
	11月 26日	心彰流剣舞剣彰会
	12月 22日	森村恭一郎(サクソ演奏)
	1月 28日	エージレス赤堀
	2月 25日	いち凧(オカリナ演奏)
	3月 25日	エージレスジュニア
	みやまセンター 毎月第1土曜日	6月 3日
8月 5日		鶴見昌弘(アコーディオン演奏)
9月 2日		琴秋会

- ・開催回数 33回
- ・出演者数 27団体、個人6名

3. 社会福祉会館の管理

社会福祉協議会の総務企画課、地域福祉推進課、在宅福祉課が事務所を置き、地域社会福祉の増進、介護保険事業、ボランティア活動の増進、心配ごと・結婚相談事業、福祉団体の活動援助等の機能が十分に発揮されるよう運営しました。

また、会館内に伊勢崎歯科医師会、伊勢崎市薬剤師会の2団体が入居しているほか、以下の通り会議室の使用がありました。

○会議室使用状況	4階第1会議室	利用料：64,600円	利用者数：3,133人
	4階第2会議室	利用料：16,100円	利用者数：2,567人
	4階第3会議室	利用料：0円	利用者数：173人

